

XNET ボックス型 ネットワークカメラ (IGP1030)

インストールガイド

Ver. 1.1 (100915)



安全上の注意事項

注 意

この製品には、複数の定格電圧(100V～240V)があります。電源を接続する前に、取扱説明書を見て電源電圧をご確認下さい。付属の電源ケーブル以外を使用しないで下さい。

この製品および全ての配線・コネクタ等は屋内の使用のみを意図して作られています。

感電の恐れがありますので、火や水の近くまたは湿気の多いところで使用しないで下さい。

機器の近くには液体の入った容器等は置かないで下さい。誤ってこぼしたり、倒れて機器内部に入ってしまった場合、発火・感電の原因になりますので大変危険です。

この製品は仕様書に規定された動作環境(温度・湿度範囲)を守り正しくお使い下さい。

マイク・センサーなどのケーブル類は電源を落とした状態で必ず接続して下さい。

落としたり、強い振動・衝撃を加えないで下さい。けがや故障の原因になります。

電源コードなどから異臭・発煙・異常音が出たり、落下などにより破損した時等は使用しないで下さい。

直射日光が当たる場所やヒーターなどの熱が発生する機器等の近くに設置しないで下さい。故障の原因になります。

使用上のお願い

保管について

本説明書や付属CD-ROMは特に紛失しないよう大事に保管して下さい。ご利用にあたり、重要な注意事項や操作方法、バージョンアップの方法などが書かれています。

設置場所について

以下の場所では使用しないで下さい。(耐環境仕様の製品については、各仕様を確認ください)

- 直射日光が当たる場所
- 水が直接かかる場所
- 軒下などの雨または風が直接当たる場所
- 海岸近くや海岸からの潮風が直接あたるような場所
- 湿気の多い場所
- 極端な高温や低温・温度差が激しい場所
- 火の近くやヒーターなど熱が発生する機器の近く
- ほこりや砂埃などが多い場所
- 油や煙の多い場所(調理場等)
- スピーカーや磁石など強い磁気が発生するものの近くでは、影響を受ける場合があります
- 腐食性ガス(アンモニア・硫化水素・亜硫酸ガス・塩素系ガス等)の発生する場所

お手入れについて

メンテナンスやお手入れの際、ベンジン、シンナー、アルコール等の有機溶剤は使用しないで下さい。変形・変色・変質の原因になります。汚れがひどい場合、中性洗剤を薄めて使用し濡らした布をかたく絞ってから拭いて下さい。

移動の際は電源を抜き通電していないのを確認のうえ、衝撃や振動を与えないようにしてなるべく緩衝材をご利用下さい。

免責事項

本製品は盗難防止器具や防災機器ではありません。本製品の動作の正常、異常に関わらず、犯罪・事故が発生した場合の障害について当社は一切責任を負いません。

製品の異常な設置方法により生じた建物等への損傷やその他の損害について、当社は一切責任を負いません。

停電等の外的要因により生じたデータの損失や記録の失敗について、当社は一切責任を負いません。

地震・雷・風水害および当社の責任以外による火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤使用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

本製品の使用または使用不能状態から生ずる付随的な損害に関して当社は一切責任を負いません。
(例: 記憶内容の消失や変化・事業利益の損失・事業の中断など)

本製品によって記録されたデータの損失については、故意や障害の原因に関わらず、当社は一切責任を負いません。

重要なデータはバックアップを取ることをお勧めいたします。

当社が関与しない接続機器やネットワーク環境、ソフトウェアなどとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

このインストールガイドについて

このインストールガイドは、XNETボックス型ネットワークカメラのユーザー限定のガイドです。XNETボックス型ネットワークカメラの操作方法を記述したものです。

以前に類似製品を使った経験があっても、この製品を使う前には、警告に注意を払い、このマニュアルを読んでください。

重要事項

このマニュアルの著作権は、CNB Technology Inc. によって所有されています。

許可なくこのマニュアルをコピーして、配布することは法律違反です。

推奨される部材を用いない、または誤操作によって引き起こされた損害は補償が適用されません。

この製品はインターネットやイントラネット、社内LAN等のTCP/IPネットワーク上で使用します。IPアドレス等のネットワーク設計のスキルが必要です。もし、IPアドレスの設定を誤るとネットワークの運用に支障を来す場合があります。

XNETはCNB Technology Inc.の登録商標です。

この製品は、業務用または家庭用の電気用品として、ヨーロッパのCE規格やUSAのFCC規格に適合しています。

目次

1. XNET機器について	1- 8
1.1 XNET機器とは	1- 8
1.2 XNET機器の特徴	1- 8
1.3 アプリケーション	1- 8
1.4 XNET機器のラインアップ	1- 9
2. 製品について	2- 1
2.1 内容物	2- 1
2.2 製品情報	2- 1
2.3 機能と概観	2- 1
2.3.1 側面	2- 1
2.3.2 背面	2- 2
2.3.3 警報機器の接続	2- 4
3. クイックインストレーション	3- 1
3.1 設定の流れ	3- 1
3.2 LANケーブル接続	3- 1
3.2.1 PC の IPアドレス設定（固定設定）	3- 1
3.2.2 PC の IPアドレス設定（DHCP自動割付）	3- 2
3.2.3 PC の IPアドレス設定の確認（固定設定、DHCP自動割付共通）	3- 2
3.2.4 ケーブル接続	3- 3
3.3 IPインストーラーソフトのインストールとIPアドレスの設定	3- 4
3.3.1 IPインストーラーソフトについて	3- 4
3.3.2 IPインストーラーソフトのインストール	3- 4
3.3.3 IPアドレスの設定	3- 4
3.3.4 IPインストーラーソフトの機能	3- 6
3.3.5 上級テクニック	3- 7
3.4 映像の確認	3- 7
4. ウェブビューワー	4- 1
4.1 ウェブ・ブラウザページ・ログイン	4- 1
4.2 ウェブビューワーページ	4- 3
4.2.1 Live View (ライブビュー)	4- 3
4.2.2 Capture (キャプチャ)	4- 7

4.2.3 Setting (設定) -----	4- 7
4.2.4 PTZ (パンチルトズーム) -----	4- 8
4.2.5 Motion (モーション) -----	4- 9
4.2.6 Multi View (マルチビュー) -----	4- 10
4.3 CMS -----	4- 11
4.3.1 CMSソフトのインストール -----	4- 11
4.3.2 CMSソフトの使い方 -----	4- 11
 5 . XNET機器の設定 -----	 5- 1
5.1 設定画面 -----	5- 1
5.2 システム設定 -----	5- 3
5.2.1 ステータス -----	5- 3
5.2.2 ユーザー登録 -----	5- 3
5.2.3 日付と時間の設定 -----	5- 5
5.2.4 マルチビューワー -----	5- 6
5.2.5 PTZ設定 -----	5- 7
5.2.6 サーバー維持管理 -----	5- 8
5.2.7 システムとログ -----	5- 10
5.3 音声とビデオ -----	5- 11
5.3.1 音声設定 -----	5- 11
5.3.2 ビデオ設定 -----	5- 12
5.3.3 RTP設定 -----	5- 13
5.3.4 カメラ状態 -----	5- 14
5.4 ネットワーク設定 -----	5- 16
5.4.1 TCP/IP -----	5- 16
5.4.2 IPフィルタリング -----	5- 17
5.4.3 HTTPポート -----	5- 18
5.4.4 UPnP/DynDNS -----	5- 19
5.4.5 CMS -----	5- 20
5.5 イベント設定 -----	5- 21
5.5.1 イベントタイプ -----	5- 21
5.5.2 センサーとアラーム -----	5- 23
5.5.3 SMTP (Eメール) -----	5- 24
5.5.4 FTP -----	5- 25
5.6 DDNSによるインターネット遠隔監視の設定例 -----	5- 26
5.7 DDNSサイト autoipset.com について -----	5- 27

5.7.1 DDNSサービス サイトautoipset.com -----	5- 27
5.7.2 ユーザー登録 -----	5- 27
5.7.3 ログイン -----	5- 28
6.付録 -----	6- 1
仕様 -----	6- 1
保証書 -----	6- 3
IPカメラリスト -----	6- 4

1. XNET機器について

1.1. XNET機器とは

XNET機器はインターネット・イントラネットをベースとしたセキュリティや監視システムであり、MJPEG, MPEG-4, H.264.のような複数の圧縮コーデック対応はもちろん、簡単なインストールとユーザーインターフェイスを通して、さまざまなネットワーク環境と互換性があります。XNET製品はD1レベルのリアルタイムビデオ/オーディオによって安定した常時監視を提供します、そしてネットワーク問題のためのローカル録画装置やハイブリッドIP技術は既存のアナログCCTV 装置で使うことができます。

1.2. XNET機器の特徴

「メガピクセル対応」 130万画素の高解像度に対応。

「ビデオ/オーディオ圧縮技術」 MJPEG/MPEG-4/H.264, ADPCM/G726に対応。

「プログレッシブ・スキャン」 がゴーストを排除し鮮明かつクリアな映像を提供します。

「ハイブリッドIP技術」 既存のアナログCCTV装置のために使うことができます。

「マルチコーデックのストリーム伝送」 はライブビデオ信号がMJPEGやMPEG4(あるいは H.264)に圧縮伝送され、さまざまなネットワークやユーザーアプリケーションを満たします。

「2ウェイオーディオ通信」はクライアントPCとXNETの双方向の音声通話を実現します。

「高性能イベント機能」であるモーションディテクションとセンサー/アラーム機能、プリ/ポストアラーム機能は人員不要の自動監視を可能にします。

「インストール/オペレーション・ウィザード」はインストールとユーザー操作を容易にするだけでなく、大規模なインストールのための、統一されたセットアップ環境を提供します。

「モーションディテクション」は最大3つの範囲を持ちます。そしてモーション検知により、アラーム出力または、ビデオ/オーディオデータのFTP伝送やEメール送信ができます。

「種々の解像度対応」 SXGA(1280x960), XGA(1024x768), VGA(640x480), QVGA(320x240)

「RS-485インターフェイス」はリモートからカメラのパンチルト制御を行います。

ネットワーク上からの遠隔制御による「オンライン・ソフトウェア・アップデート」ができます。

1.3. アプリケーション

防犯監視 (ビル, 店舗, 工場, 駐車場, 金融機関, 政府施設, 軍事施設, 他)

遠隔映像監視 (病院, 幼稚園, 交通状況, 企業支店, 気象観測, 環境保護, 不法投棄, 他)

インターネットによるリアルタイム放送 (リゾート施設, パーティー, フェスティバル, 他)

遠隔会議や教育・トレーニング等

1.4. XNET機器のラインアップ

用途により、形状・機能がラインアップされています。詳しくは販売店へお問合せ下さい。

表1-1

ボックス型カメラ		
	IGP1030	ハイブリッドIP, 1.3メガピクセル, 1/2 インチ プログレッシブ CMOS センサー
ドームカメラ		
	IDP4030VR	ハイブリッドIP, 1.3メガピクセル, デイ&ナイト, IR, 1/2 インチ プログレッシブ CMOS センサー, DC アイリス パリフォーカルレンズ (f=3~9 mm)
	IDP4000VR	ハイブリッドIP, デイ&ナイト IR, プログレッシブ 1/4" CCD センサー, VGA, DC アイリス パリフォーカルレンズ (f=3.8~9.5 mm)
	IDP4000VD	ハイブリッドIP, プログレッシブ 1/4" CCD センサー, VGA, DC アイリス パリフォーカルレンズ (f=2.8~10.5 mm)
ドームカメラ		
	IYP4030VR	ハイブリッドIP, 1.3メガピクセル, デイ&ナイト, IR, 耐衝撃, 1/2 インチ プログレッシブ CMOS センサー, DC アイリス パリフォーカルレンズ (f=3~9 mm)
	IYP4000VR	ハイブリッドIP, デイ&ナイト, IR, 耐衝撃ドームカメラ, プログレッシブ 1/4" CCD センサー, VGA, DC アイリス パリフォーカルレンズ (f=3.8~9.5mm)
赤外線カメラ + IJB2000 全天候型ビデオサーバー		
	IBE5810NCR IBE5810PCR + IJB2000	550TVL, DC アイリス パリフォーカルレンズ(7.5~50mm), デイ&ナイト(ICR, DSS), 内蔵 IR LED 206EA and センサー 1EA, IR 可視範囲 : 80m
	IBE3815NVR IBE3815PVR + IJB2000	550TVL, DC アイリス パリフォーカルレンズ(3.8~9.5mm), デイ&ナイト(ICR, DSS), 内蔵 IR LED 42EA and センサー 1EA, IR 可視範囲 : 最大.40m, AC24/DC12V デュアル電圧
パチルト・ズーム)カメラ		
	IPM3063N IPM3063P	IP インドア PTZ, 100x Zoom(10x 光学 / 10x デジタル), TDN(ICR), プライバシーゾーン、モーションディテクション, Vector Point Moving 機能
	ISS2765NW ISS2765PW	IP アウトドア・スピードドーム, 270xズーム(27x 光学 / 10x デジタル), TDN(ICR), プライバシーゾーン、モーションディテクション
	ISMC1063N ISMC1063P	IP ミニ・インドア・スピードドーム, 100xズーム(10x 光学 / 10x デジタル), TDN(ICR), プライバシーゾーン、モーションディテクション
ビデオサーバー		
	INS2000	1chコンポジット入力、デュアルストリーム MJPEG/H.264 (or MPEG4)

2. 製品について

2.1. 内容物


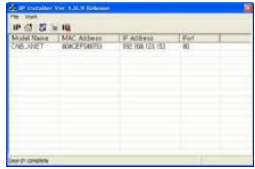
製品パッケージを開けたとき、次の内容物が含まれることを確認してください。

表2-1

内容物	説明	備考
XNET製品	ボックス型ネットワークカメラ (レンズ別売)	
オートアイリス・レンズ・プラグ	オートアイリス制御信号用接続プラグ	
電源アダプター	入力：100～240V AC 50-60Hz 出力：12V DC, 2A	
AC電源コード	2極タイプ	
CD-ROM	ソフトウェア、ユーザズマニュアル	

2.2. 製品情報

表2-2

XNET製品 (IGP1030)	CD-ROM	
	IPインストーラー	ビューワーソフト(CMS)
		
XNETボックス型 ネットワークカメラ (レンズ別売)	XNET機器へ、簡単にIP アドレスを設定します	XNET機器を複数台接 続、映像と音声を同時 モニターします。

2.3. 機能と概観

2.3.1. 側面



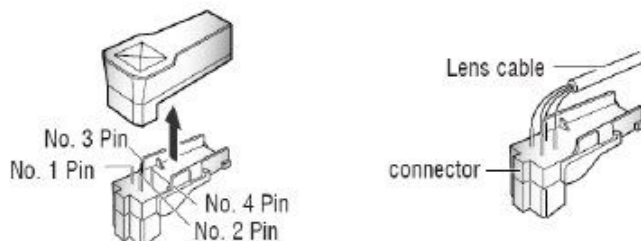
図2-3 ネットワークカメラ側面図

- ・レンズ (別売): C または CSマウント、固定 または バリフォーカルDCオートアイリスレンズ
- ・オートアイリス 制御プラグ : オートアイリス制御用プラグ

以下にオートアイリス制御用プラグ各端子の接続を示します:

表2-4

ピンNo.	信号
#1	ダンピングコイル(-)
#2	ダンピングコイル(+)
#3	デバイスコイル(+)
#4	デバイスコイル(-)



レンズケーブルの被服を8mm

図2-5 オートアイリス制御用プラグ各端子の接続

むいて、次に接続プラグをはんだ付けするため、内部ケーブルの被服を2mmむいてください。



図2-6 レンズケーブルの加工

2.3.2. 背面

接続は以下の図のとおりです。

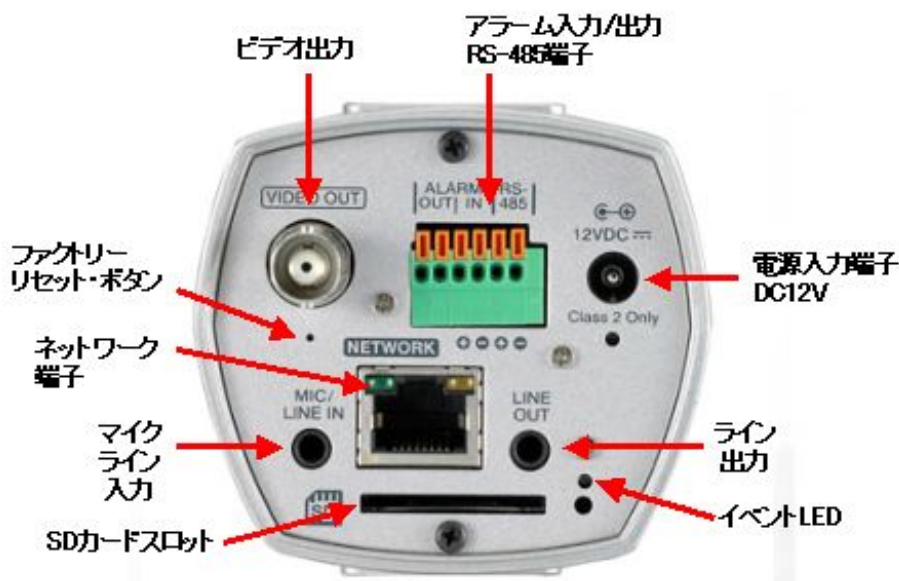


図2-7 ネットワークカメラの背面

- ・ **マイク/ライン入力** : AUX機器やマイクを接続。どちらも3.5mmモノラル/ステレオ端子を使います。



図2-8. マイク/ライン入力(左) と オーディオ出力コネクター

- ・ **ライン出力** : 音声信号をパワーアンプやスピーカーへします。これは双方向音声通話のとき、リモートPCから送られる音声を聞くことができます。
- ・ **ビデオ出力** : アナログ映像信号をモニターに出力します。
(この出力を有効にするため、メニュー画面からVideo Outを選択します)
- ・ **ファクトリー・リセットボタン** : 3秒間長押しすると、工場出荷時設定を呼び出します。
- ・ **ネットワーク端子** : LANケーブルを接続します。速度は10Mbpsまたは 100Mbpsです。
PoE使用時は、この端子からLANケーブルを通して電力が供給されます。LEDの意味は以下です。
 - LINK : 黄色の点灯はネットワークの接続(LINK)を示します。
 - ACT : 緑色の点灯はXNETシステムが100Mbpsで接続されていることを示します。
システムがデータを受信する(ACT)とランプは点滅します。
- ・ **ステータスLED** : 操作ステータスを示します。
 - EVENT LED : 緑色の点灯はアラーム信号の出力を示します。
 - POWER LED : 赤色の点灯は12V DC 電源の接続を示します。
- ・ **アラーム入力/出力、RS-485端子およびSDカードスロット**
 - アラーム入力 : アラームセンサーの出力を接続します。接続は1つだけです。
 - アラーム出力 : サイレンやアラームライトのようなリレーによって稼働する外
警報出機器を接続します。接続は1つだけです。
 - RS-485 : RS-485制御インターフェイスによって、PTZ機器を制御できます。

表2-9

端子画像	Pin番号	説明	設定
	1	ALARM OUT	設定画面にて、接点動作NOかNCを選択します。
	2	ALARM OUT	
	3	ALARM IN(+)	極性注意。設定画面にて、接点動作NOかNCを選択します。
	4	ALARM IN(-)	
	5	RS-485+	
	6	RS-485-	

- SDカードスロット： イベント発生時にSDカードに映像を録画できます。
使用可能なSDカードの容量は4GB以下になります。



図2-10 SDカードの挿入

・ 電源入力端子

- 電源入力端子： 12V DC電源を接続します。

注意： LANケーブルで給電するときは(PoE)は、電源端子を使いません。LANケーブルと12V DC電源の両方の接続で製品が故障したときは保障の対象外になります。

2.3.3 センサー・アラーム機器の接続

アラーム入力

種々のセンサー(赤外線、感熱、磁気など)からの配線は、図2-5. のようにAlarm in(+)/(-) 端子に接続することができます。NC(Normal Close)またはNO(Normal Open)のセンサー入力は、セットアップ画面で選択できます。なお、アラーム入力は、信号電圧DC5～30Vが発生するセンサーでなければなりません。無電圧の接点だけでは動作しないので、電源DC5～30Vが必要です。

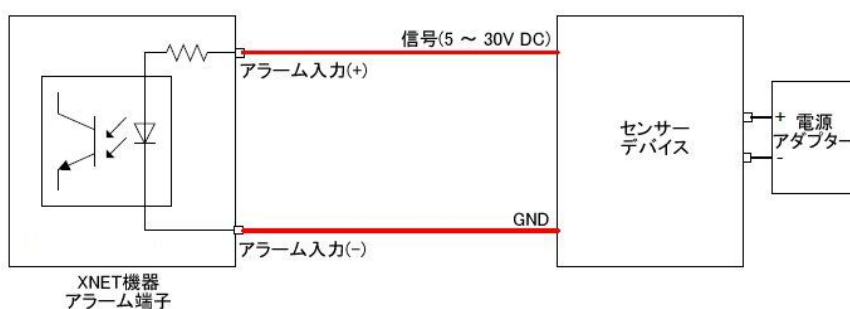


図2-11 センサーデバイスの接続

アラーム出力

警報ライトやブザー等アラームデバイスを接続します。この端子の接点容量はAC 30V/400mA、またはDC 30V/400mAです。大容量のリレーデバイスを追加すると、より大きな電圧、電流を制御できます。

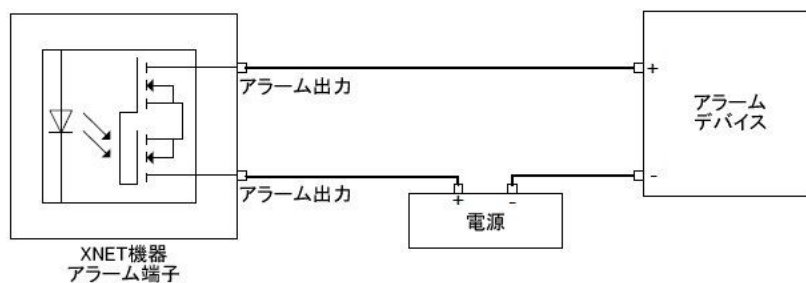


図2-12 アラームデバイスの接続

3. クイック・インストール

3.1. 設定の流れ

以下の手順で、1台のXNET機器にIPアドレスを設定して、映像を確認します。なお、工場出荷時のXNET機器のIPアドレスは、DHCP自動取得になっています。

- ① XNET機器のMACアドレスをメモしておきます。機器のシールに印刷されています。
- ② XNET機器とPCをLANケーブルで接続、スイッチングHUBやルーターを介して接続します。
- ③ PCはあらかじめIPアドレスを設定しておきます。(固定またはDHCPサーバーからの自動割付)
- ④ PCに、付属の「IPインストーラーソフト」をインストールします。
- ⑤ 「IPインストーラーソフト」を使ってXNET機器にIPアドレス等を設定します。
- ⑥ PCでブラウザを立ち上げて、XNET機器のIPアドレスを入力して映像を確認します。

3.2. LANケーブル接続

3.2.1. PC の IPアドレス設定 (固定設定)

スイッチングHUBやルーターにDHCP機能がない場合は、PCのIPアドレスは以下の例のように固定で設定します。この画面は、マイネットワークのプロパティ、ローカルエリア接続のプロパティ、インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ、で開くことができます。

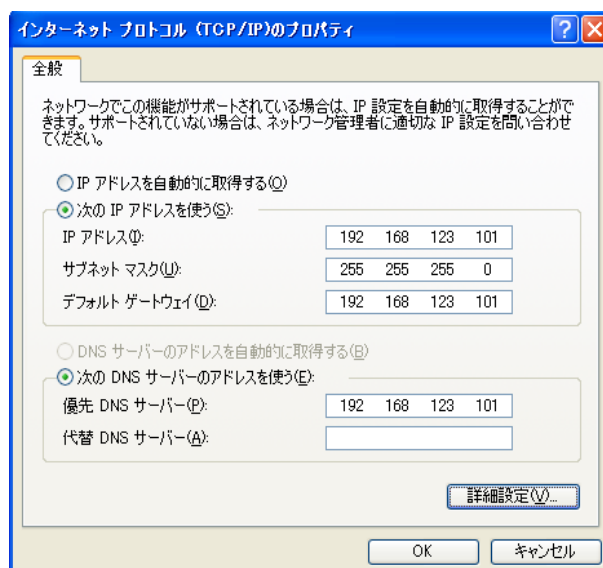


図3-1 インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ

注意：IPアドレスについて 192.168.123.100

- ・ 下線部分をネットワークアドレスと言います。100はホストアドレスになります。
- ・ ネットワークアドレスが同じ機器どうしが通信できます。
- ・ ホストアドレスは同じネットワークアドレス上で重複してはいけません。
- ・ ホストアドレスに使える数値は1から254までです。機器数でいうと254台です。

3.2.2 PC の IPアドレス設定（DHCP自動割付）

インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティでは、「IPアドレスを自動的に取得する」を選択します。固定設定の場合は前項。スイッチングHUBやルーターにDHCP機能がある場合は、固定ではなくこの方法を推奨します。

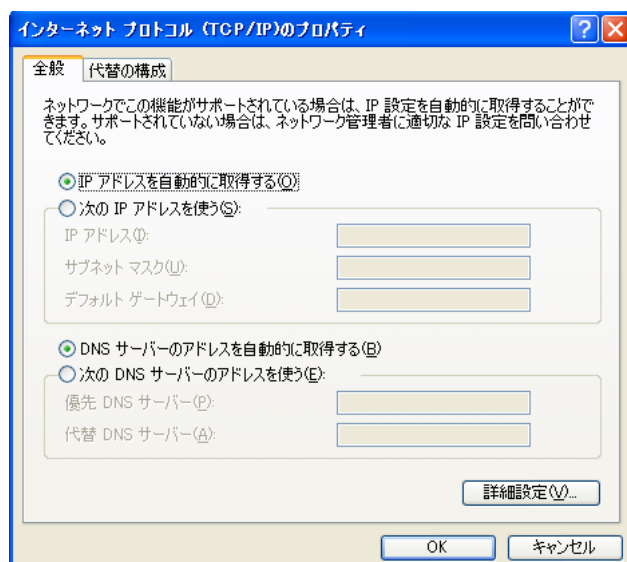


図3-2 インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ

3.2.3 PC の IPアドレス設定の確認（固定設定、DHCP自動割付共通）

コマンドプロンプト画面から、コマンドipconfigを実行します。IP Addressに数字が表示されればOKです。この画面(実際は黒背景)は、スタートメニュー、アクセサリ、コマンドプロンプト、から表示できます。以下の例は、3.2.1項 固定設定の結果です。

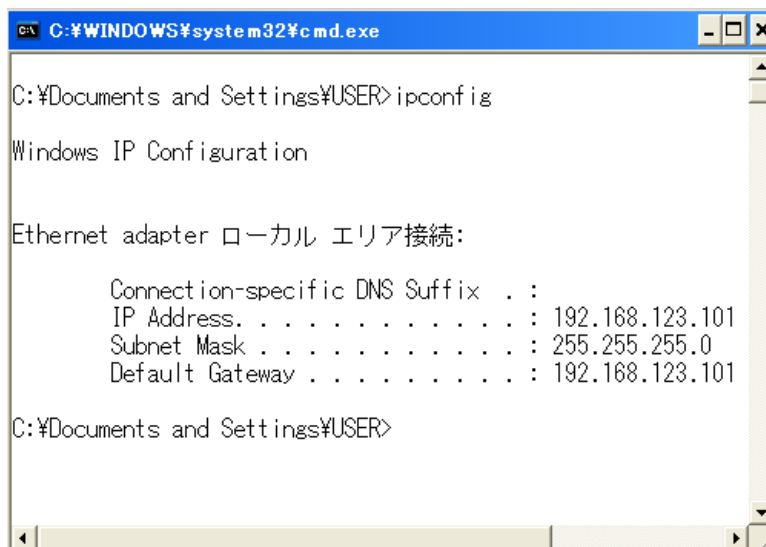


図3-3 コマンドプロンプト

3.2.4 ケーブル接続

- ① LANケーブル(ストレート)とスイッチングHUBまたはルーターで接続(推奨)

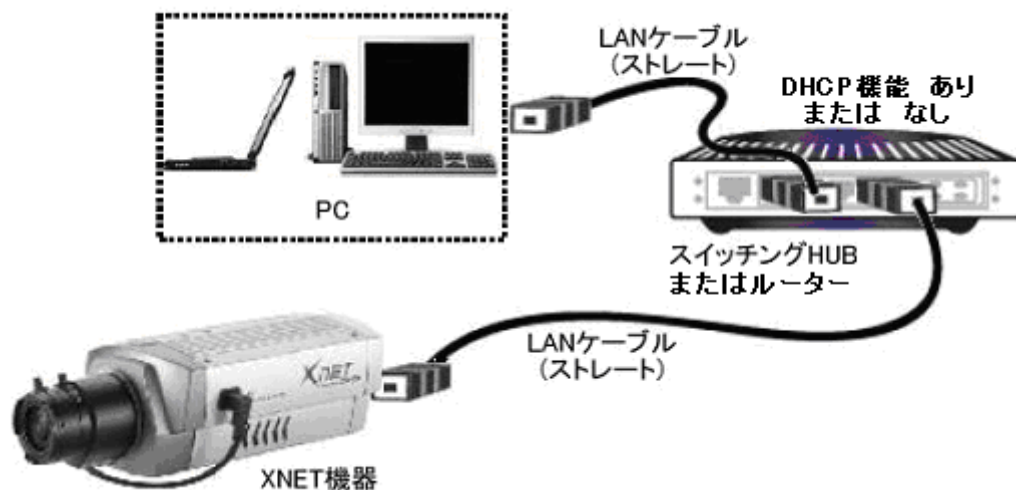


図3-4 スwitchングHUB接続

- ② LANケーブル(クロス)で接続

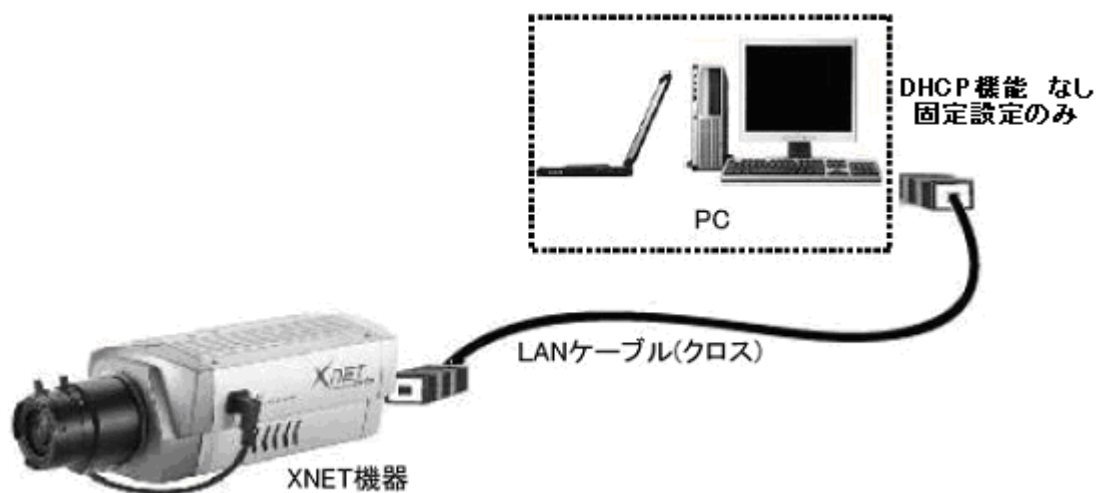


図3-5 クロスケーブル接続

3.3. IPインストーラソフトのインストールとIPアドレスの設定

3.3.1. IPインストーラーソフトについて

ネットワーク上で、XNET機器とモニター用パソコンが通信するためには、同じネットワークアドレスかつ重複しないIPホストアドレスの設定が必要です。製品付属CD-ROMにある「IPインストーラーソフト」は、この設定を簡単に行います。

3.3.2. IPインストーラーソフトのインストール

(1) システム要件

ハードウェア : CPU : 300 MHz以上 RAM: 128 MB以上

OS: Windows XP または Windows VISTA

(2) インストール手順

CD-ROM等から、IP Installer Setup.exe をクリックして、インストールを開始します。

インストールは、指示通りにNext(次へ)へと送れば完了して、デスクトップにアイコン

IP Installer が作られます。続いて、Bonjour(ボンジュール)のインストール案内があります。案内に従ってインストールします。



図3-4 アイコン

3.3.3. IPアドレスの設定

(1) IPインストーラーソフトを起動すると、**DHCP機能がある場合**、以下の画面が表示されます。接続されているXNET機器の名前(工場設定値)、機器型番、MACアドレス、IPアドレス、ポート番号が表示されます。**DHCP機能がない場合**、XNET機器は表示されませんので、(4)へ進みます。

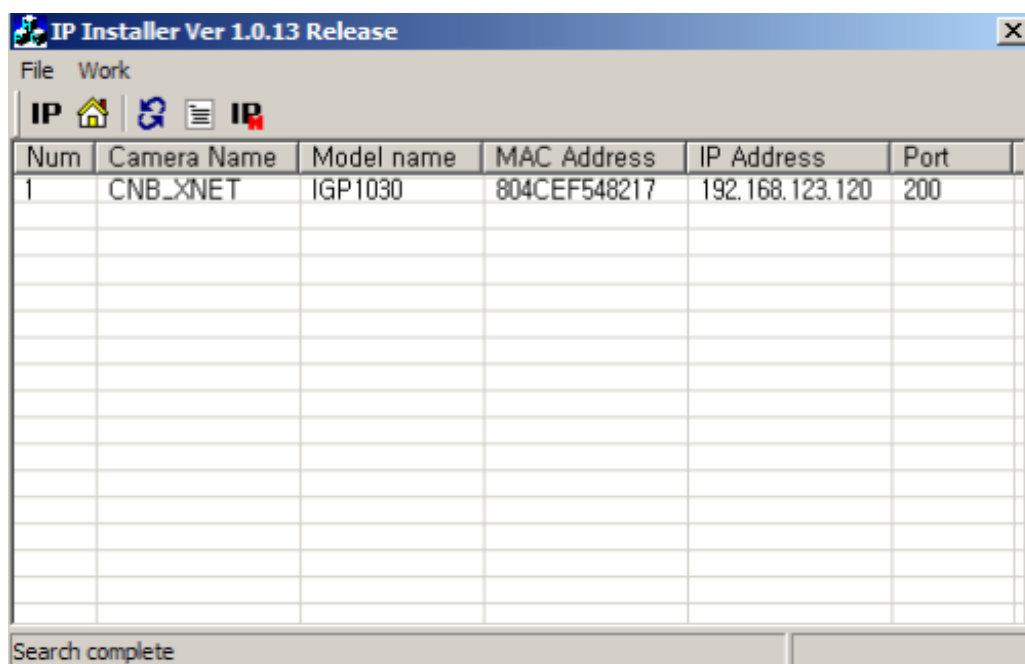


図3-5 IPインストールソフト起動後画面


- (2) リストの1行目をダブルクリックします。または  アイコン。次の画面になります。IPアドレスを変更したい場合、希望のIPアドレスを入力します。そのままよい場合も、**Set**を押します。



図3-6 IPアドレス設定画面

- (3) 続いてPC側のネットワークカードが表示されます。選択して、そのまま**Select**を押します。

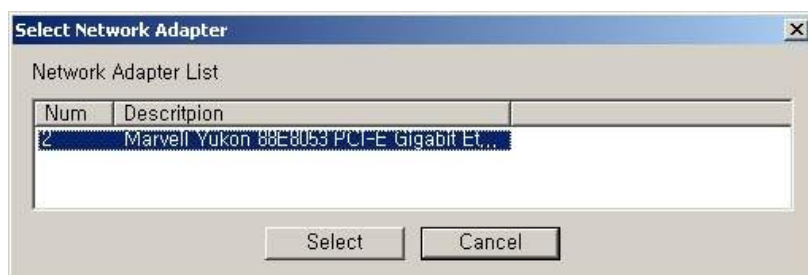



図3-7 ネットワークアダプター選択画面

- (4) IP インストーラーを起動して、XNET 機器が表示されない場合、MACアドレス(Serial Number)を使い強制的に IP アドレスを設定します。 アイコンをクリック、以下の画面で入力、**Set**を押します。

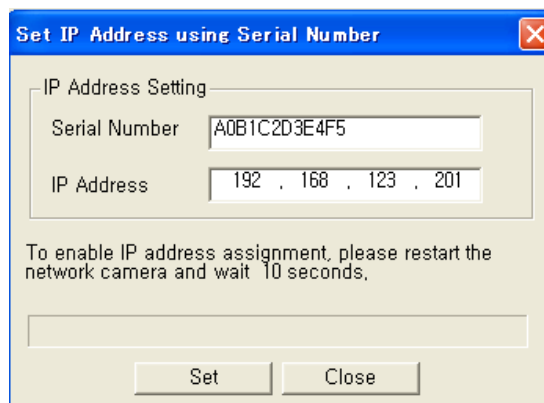


図 3-8 MAC アドレスによる IP アドレス設定






(5) 以上で XNET 機器の IP アドレスの変更が確定しました。本当に設定されたかの確認は、いくつかの方法があります。

- ・ IP インストールソフトの画面上またはプロパティ機能で確認
- ・ 次のステップにある「映像の確認」で映像が映れば OK
- ・ セクション 5 のブラウザからの設定画面にて、ネットワークセットアップの TCP/IP にて確認
- ・ PC の DOS プロンプトから Ping コマンドにて確認

3.3.4. IP インストーラーソフトの機能

一覧表から XNET 機器をマウスで選択して、アイコンまたはメニューから以下の機能を実行できます。

表 3-9

項目	アイコン	内容
Homepage		ホームページ 選択した XNET 機器のブラウザビューワー画面を表示します。
Set IP Address		IP アドレス設定 選択した XNET 機器の IP アドレスを設定します。
Set IP Address using Serial number		シリアルナンバーによる IP アドレス設定 XNET 機器のシリアルナンバーから IP アドレスを設定します。
Properties		プロパティ 選択した XNET 機器の情報を表示します。
Refresh		リフレッシュ XNET 機器が表示されない場合の再試行

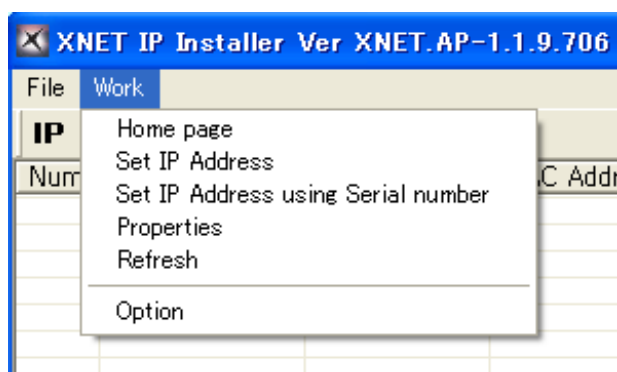


図 3-10 Work メニュー

オプションについて

オプションをクリックすると、右図のような画面が表示されます。通常、変更の必要はありません。もし Bonjour を使う場合は、UPnP のチェックを外します。

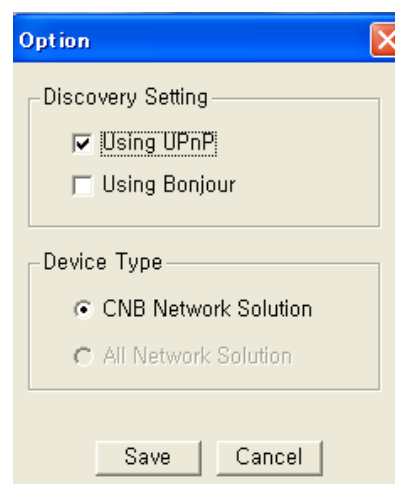


図 3-11 オプション画面

3.3.5. 上級テクニック

IP インストーラーソフトは複数の XNET 機器を表示することができます。XNET 機器の工場出荷時の IP アドレス設定は、DHCP 自動取得です。ルーターの DHCP 機能をオンにして、複数ポートのスイッチングハブを使うと、IP インストーラーのリスト表示から、一度に多くの XNET 機器を短時間で設定することができます。

注意： 各 XNET 機器の IP アドレスは接続時に必ず固定化を確認してください。DHCP 設定のままだと、後日 IP アドレスが変化してカメラに接続できなくなる場合があります。また、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS サーバー等のアドレスも正確に設定し直してください。

UPnP と Bonjour はネットワーク環境で使い分けると便利です。設定 PC と XNET のネットワークアドレスが同一の場合(DHCP サーバーがある環境)は、UPnP が便利です。IP インストーラーのリスト表示から XNET 機器の設定画面にジャンプして、固定設定を続けることができます。

設定 PC と XNET のネットワークアドレスが異なる場合(DHCP サーバーがない環境)は、Bonjour を使い IP インストーラーにリスト表示できます。ただし、リスト表示から設定画面にジャンプできないので、シリアルナンバーによる IP アドレス設定を使います。

UPnP や Bonjour でも IP インストーラーにリスト表示しない場合は、シリアルナンバーによる IP アドレス設定を使います。ただし、最低限、設定 PC に何らかの IP アドレスの設定が必要です。

表 3-12

機能	PCのアドレス例	XNETのアドレス例	IPインストーラーのリスト表示	備考
UPnP	192.168.1.100	192.168.1.101	する	同一ネットワークアドレス
	192.168.2.100	192.168.1.101	しない	異なるネットワークアドレス
	192.168.2.100	なし	しない	異なるネットワークアドレス
Bonjour	192.168.1.100	192.168.1.101	する	同一ネットワークアドレス
	192.168.2.100	192.168.1.101	する(設定画面には移動不可)	異なるネットワークアドレス
	192.168.2.100	なし	する(設定画面には移動不可)	異なるネットワークアドレス

3.4. 映像の確認

次のセクション「4.ビューワー」にて映像を確認します。

4. ビューワー

XNET機器の映像や音声は、インターネット・ウェブ・ブラウザやXNETのCMSソフトウェアを使って閲覧することができます。

4.1. ウェブ・ブラウザページ・ログイン

ブラウザのアドレスバーにXNET機器のIPアドレスを入力して、Enterボタンを押します。

初めて接続するときは、以下のようなアドオン(Active X コントロール)のインストール要請画面になる場合があります。要請にしたがって、インストールを進めます。

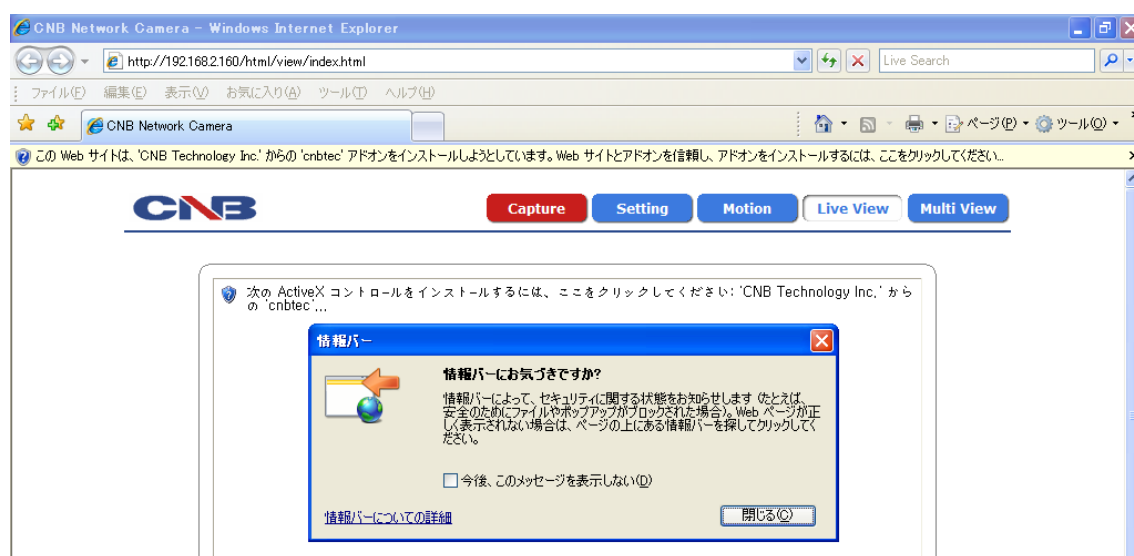


図4-1 アドオンのインストール

ソフトウェアをインストールします。



図4-2 インストールの確認

通常は、以下の画面になります。(以下の例では、http://211.104.176.144:200 と入力)

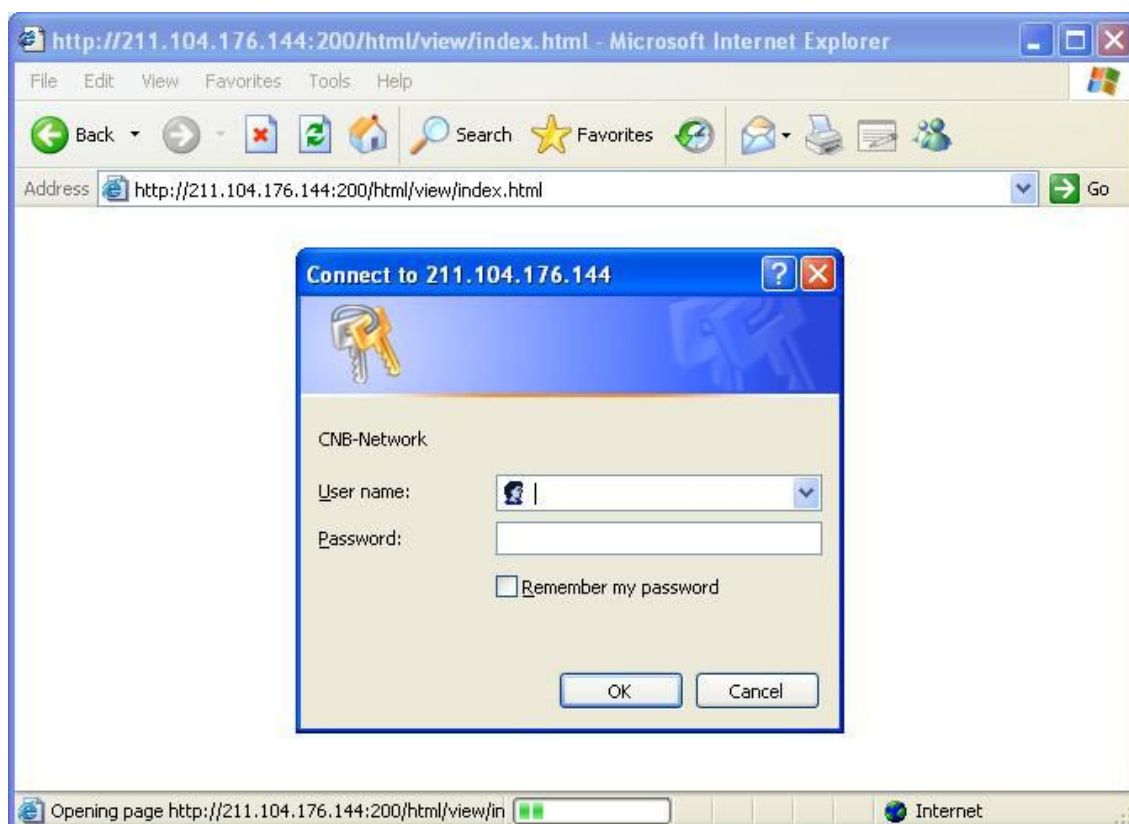


図4-3 ログイン画面

User name(ユーザー名)とPassword(パスワード)を入力してEnterを押すとウェブ・ビューワーページが表示されます。初期のUser nameとPasswordは、それぞれ“root”と“admin”です。

初期HTTPポート番号は80です。(省略可能) もし、初期HTTPポート番号と異なった番号を使った時は、IPアドレスに続けてコロン(:)とポート番号を記述します。例えば、8080ポートを使いたいときは、**http://192.168.123.100:8080** となります。

セキュリティ確保のために、アドミニストレーターのIDとパスワードはデフォルト値(root/admin)から変更されることを推奨します。ただし、パスワードの忘れと漏洩には注意してください。

もし、アドミニストレーターパスワードを忘れたときは、「ファクトリー・リセット」が唯一の解決方法です。しかしながら、この処理は全ての設定を工場出荷時に戻すので、ネットワーク設定をはじめ、処理前の設定を全てやり直さなければなりません。

4.2. ウェブ・ビューワーページ

4.2.1 Live View(ライブビュー)

ログインして、アドレスを入力するとウェブ・ビューワーページになり、Live View(ライブビュー)表示が自動的に選択されて、動画が表示されます。表示と各種機能ボタン・表示があります。

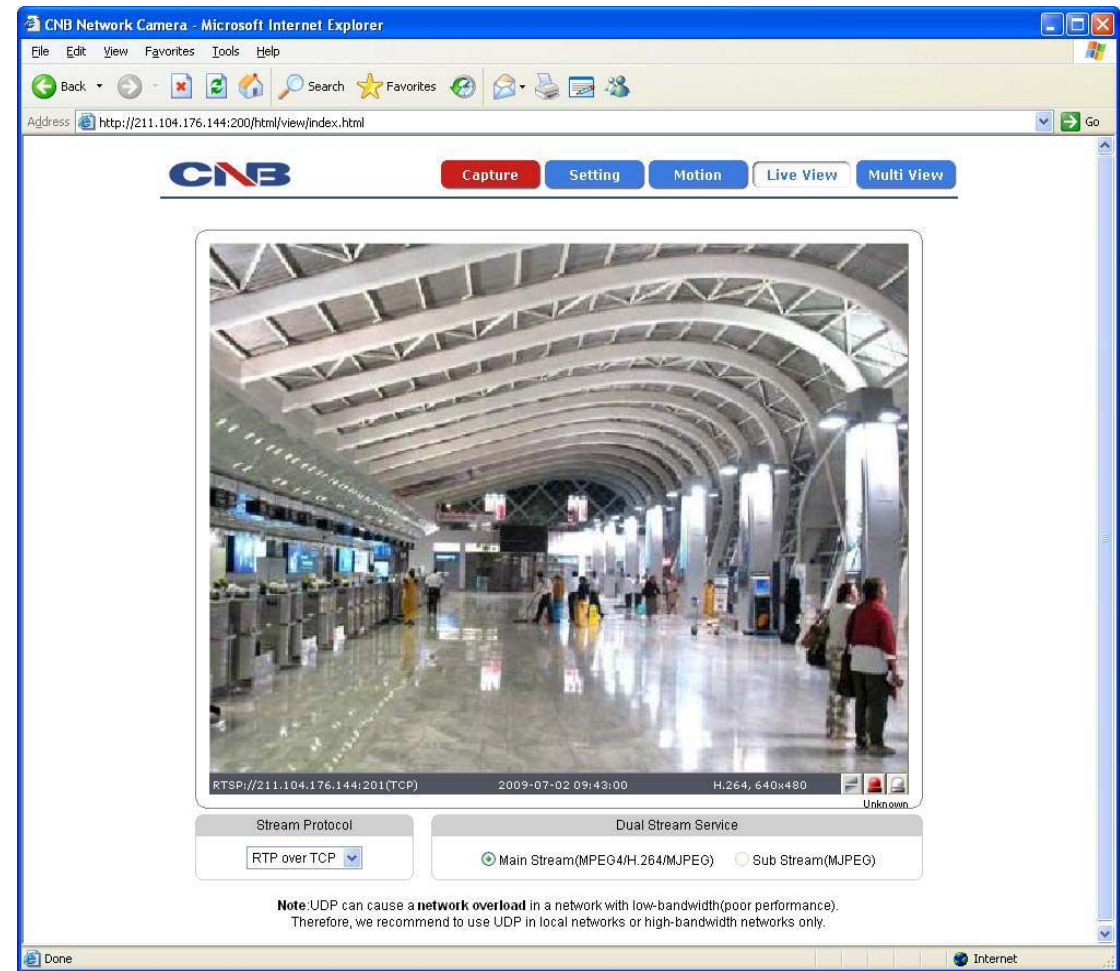
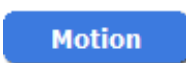

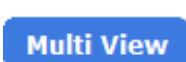


図4-4 ライブビュー表示

(1) 上部の機能ボタン

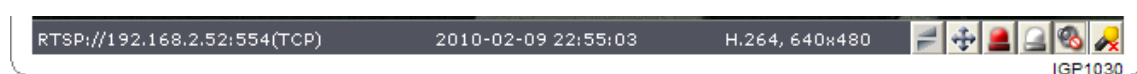
表4-5

ボタン	意味	内容
Capture	Capture (キャプチャ)	ボタンを押すと、その瞬間の静止画を生成します。静止画はファイルとして保存することができます。
Setting	Setting (設定)	XNET機器の情報や音声、映像、ネットワーク、入出力機器、XNET機器の管理の設定ができます。セクション5にて。
PTZ	PTZ (パンチルトズーム)	PTZ機能あるXNET機器や回転台との組合せの時、ブラウザからコントロールすることができます。

	Motion (モーション)	モーションディテクションの設定をします。検知範囲の指定や感度の指定をします。
	LiveView (ライブビュー)	ブラウザを起動すると最初にライブビューになります。他の機能から戻るときにこのボタンを押します。
	MultiView (マルチビュー)	このXNET機器以外にあと3台のXNET機器を登録して、ブラウザで4分割表示で映像を見ることができます。

(2)下部の情報表示

機能ボタン



接続先XNET製品のアドレス

日付時刻





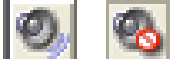

動画圧縮方式と解像度

XNET製品名

図4-6 情報表示

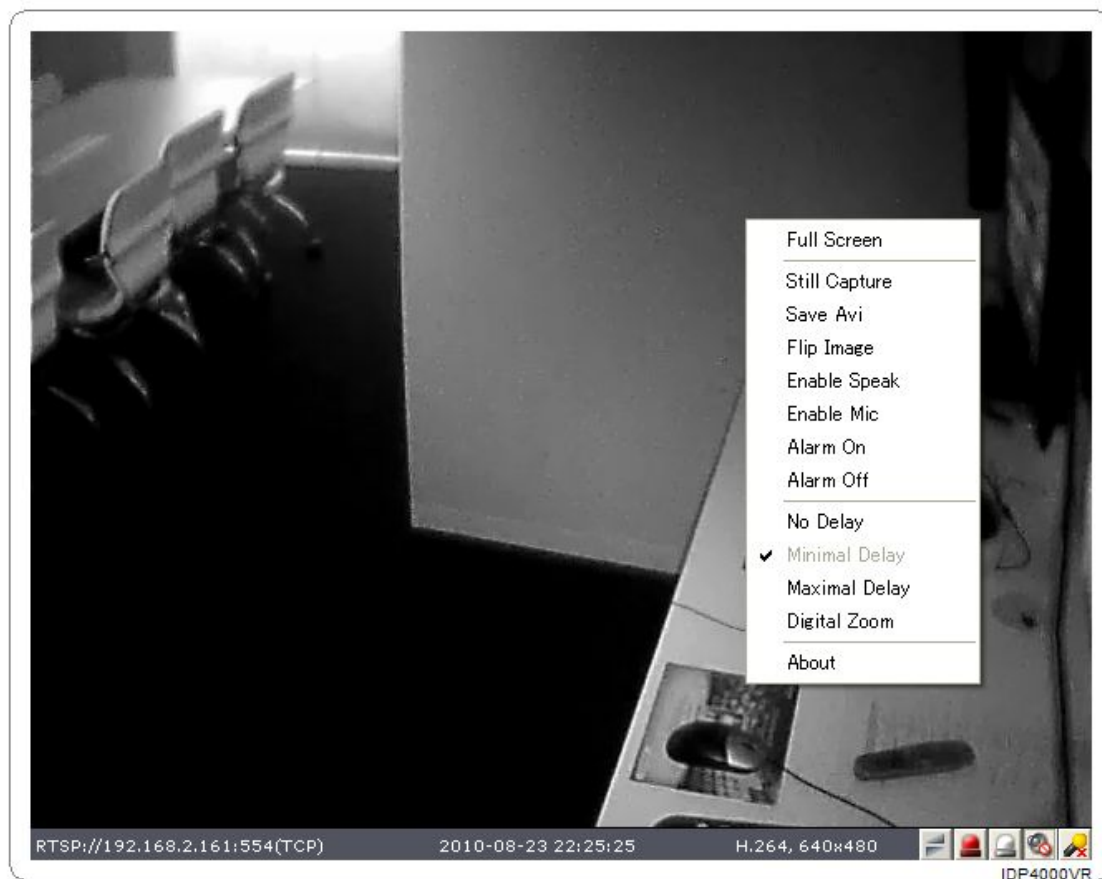
(3)下部の機能ボタン

表4-7

ボタン	意味	内容
	Image Flip (イメージフリップ)	クリックすることにより、映像の上下を反転させます。
	Screen PTZ (スクリーンPTZ)	マウスで映像をクリックすると、デジタル処理で映像を上下左右に動かすことができます。
	Alarm On (アラームオン)	接続されたセンサーやモーションが反応したとき、XNET機器に接続された出力機器が発報します。
	Alarm Off (アラームオフ)	アラームをオフにします。
	Speaker On/Off (スピーカオンオフ)	オンにするとXNET機器側の音声はパソコン側のスピーカーから聞こえます。
	Microphone On/Off (マイクオンオフ)	オンにするとパソコン側の音声はXNET機器側のスピーカーから聞こえます。

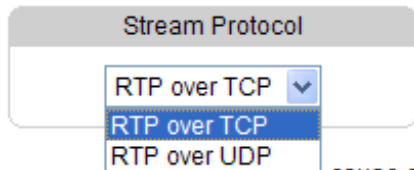
(6)右クリックメニュー

映像上でマウスを右クリックすると機能メニューが表示されます。機能が選択されて有効の時、左側にチェックマークが付きます。再選択すると、チェックマークが消えて、機能が解除されます。



項目(英名)	項目(和名)	機能内容
Full Screen	フルスクリーン	画面全体に表示します。
Still Capture	静止画キャプチャ	選択した瞬間の静止画を取り込みます。
Save Avi	AVIファイル保存	この機能は使えません。
Flip Image	画像上下反転	クリックするごとに、映像の上下を反転させます。
Enable Speak	スピーカー有効	選択すると音声が入力側のスピーカーから出ます。
Enable Mic	マイク有効	選択すると入力側の音声が入力側のスピーカーから出ます。
Alarm On	アラームオン	センサー等が反応した時、出力機器が発報します。
Alarm Off	アラームオフ	アラームをオフにします。
No Delay	ディレイ無し	ディレイを無しにします。
Minimal Delay	ディレイ最小	ディレイを最小にします。
Maximal Delay	ディレイ最大	ディレイを最大にします。
Digital Zoom	デジタルズーム	マップ画面が表示されホイールマウスで拡大縮小します。
De-Interlace mode	非インターレースモード	選択すると、非インターレースモードになります。

(4)ストリームプロトコル選択



エディットボックスよりストリームプロトコルを選択します。

RTP over TCP または RTP over UDPを選択します。

図4-8 ストリームプロトコル

(5)デュアルストリームサービス

NVR(Network Video Recorder)を使って、XNET機器の映像をネットワーク上で録画しているとき、ライブ画面をPCから見ると、NVRとPCでデータの取り合いが発生し、ライブ映像がスムーズになりません。このとき、サブストリームを使うと、録画とライブ監視を両立できます。次のセクション5で設定します。

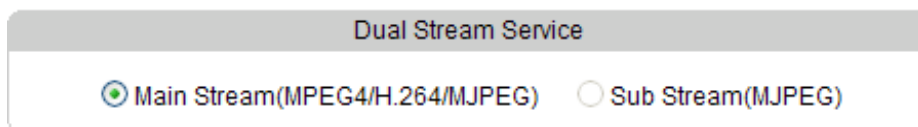


図4-9 デュアルストリームサービス

4.2.2 Capture(キャプチャ)

映像表示中にCaptureボタンを押すと、押した瞬間の静止画が別ウインドウで表示されます。

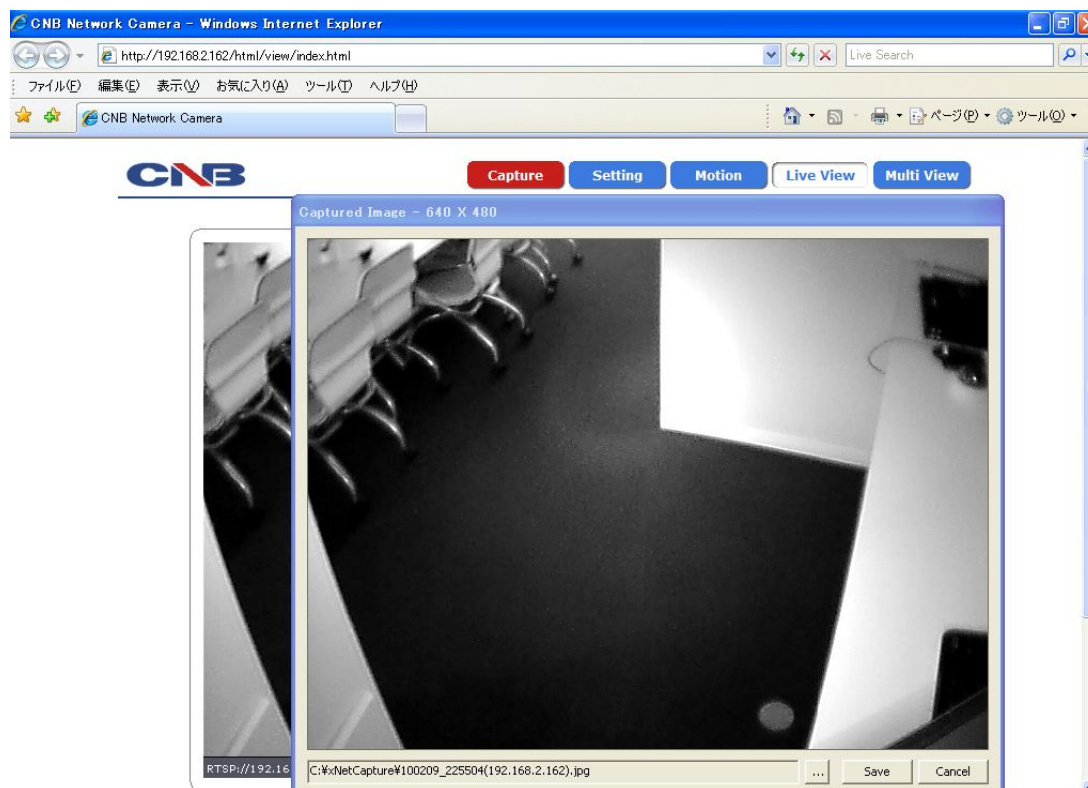


図4-10 キャプチャ

Save (保存)を押すと、表示されているフォルダに画像ファイルとして保存されます。

... (ブラウズ)を押すと、保存先のフォルダを変更できます。

Cancel (キャンセル)を押すと、操作を取り消し、別ウインドウを閉じます。

画像のサイズは 704×480 のみです。

4.2.3 Setting (設定)

次のセクション5にて説明します。

4.2.4 PTZ(パンチルトズーム)

PTZ機能(デジタル式含む)を持つXNET機器の映像で、PTZボタンを押すと、右側にコントロールキーが現れます。上下左右、拡大・縮小、遠近、アイリス増減のコントロールができます。また、好きな位置をプリセットとしてメモリ登録することができます。



図4-11 パンチルトズーム



コントロールキーの操作

8方向キー+センター: 8方向、センターに戻る

Wide Tele : 拡大、縮小

Far Near : 遠・近

Iris+ Iris- : アイリス増減

Preset : プリセット番号選択

set del go : セット、削除、実行

図4-12 コントロールキー

4.2.5 Motion (モーション)

Motionボタンを押すと、モーションディテクションの設定画面になります。エリアを複数記録できます。最大3つのエリアをマウスで指定できます。

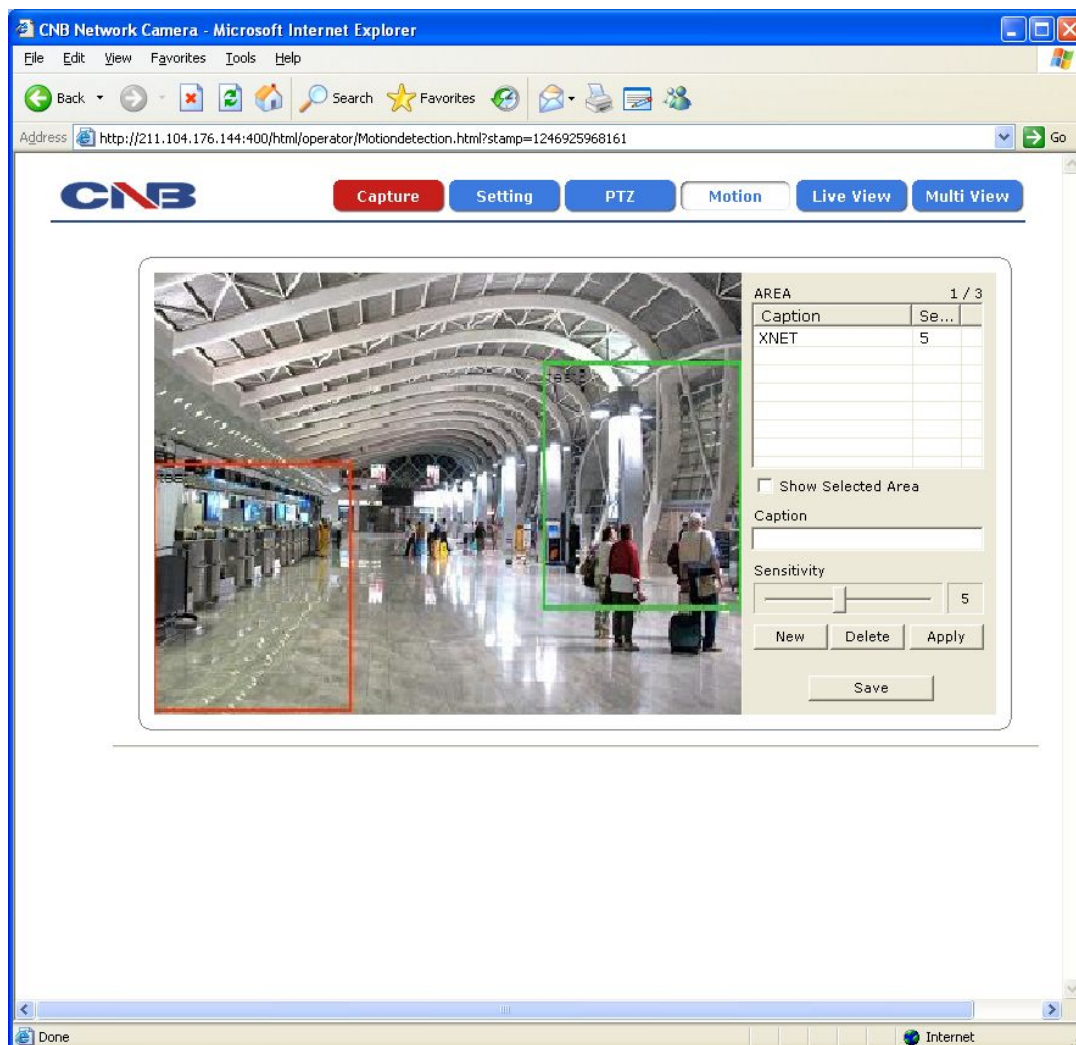
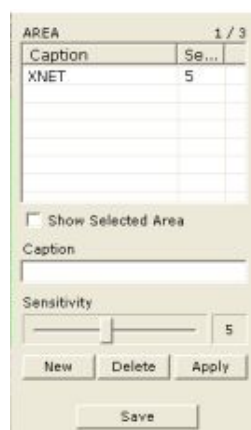


図4-13 モーションディテクション



モーションディテクションの設定

AREA：登録した表題がエリアに表示されます。最大3つを選択します。

☐ Show Selected Area：表題を選択して、チェックするとエリア表示します。

Caption：表題(キャプション)を登録します。使える文字は半角英数です。

Sensitivity：下のスクロールバーで感度を設定します。設定は10段階です。

New：新しくエリアに登録します。

Delete：エリアから削除します。

Apply：修正した表題を確定します。

Save：登録、削除、修正の操作を保存します。

図4-14 モーションディテクションの設定

4.2.6 Multi View (マルチビュー)

マルチビュー機能を使うと、同時に最高4つの異なるXNET機器の映像を見ることができます。マルチビューボタンを押すと、図1-28のようになります。左上がこのXNET機器の映像で、残り3つは、あらかじめ、Setting(設定)で指定したネットワーク上(インターネット、イントラネット)のXNET機器になります。設定方法はセクション5.2.4マルチビューを参照してください。

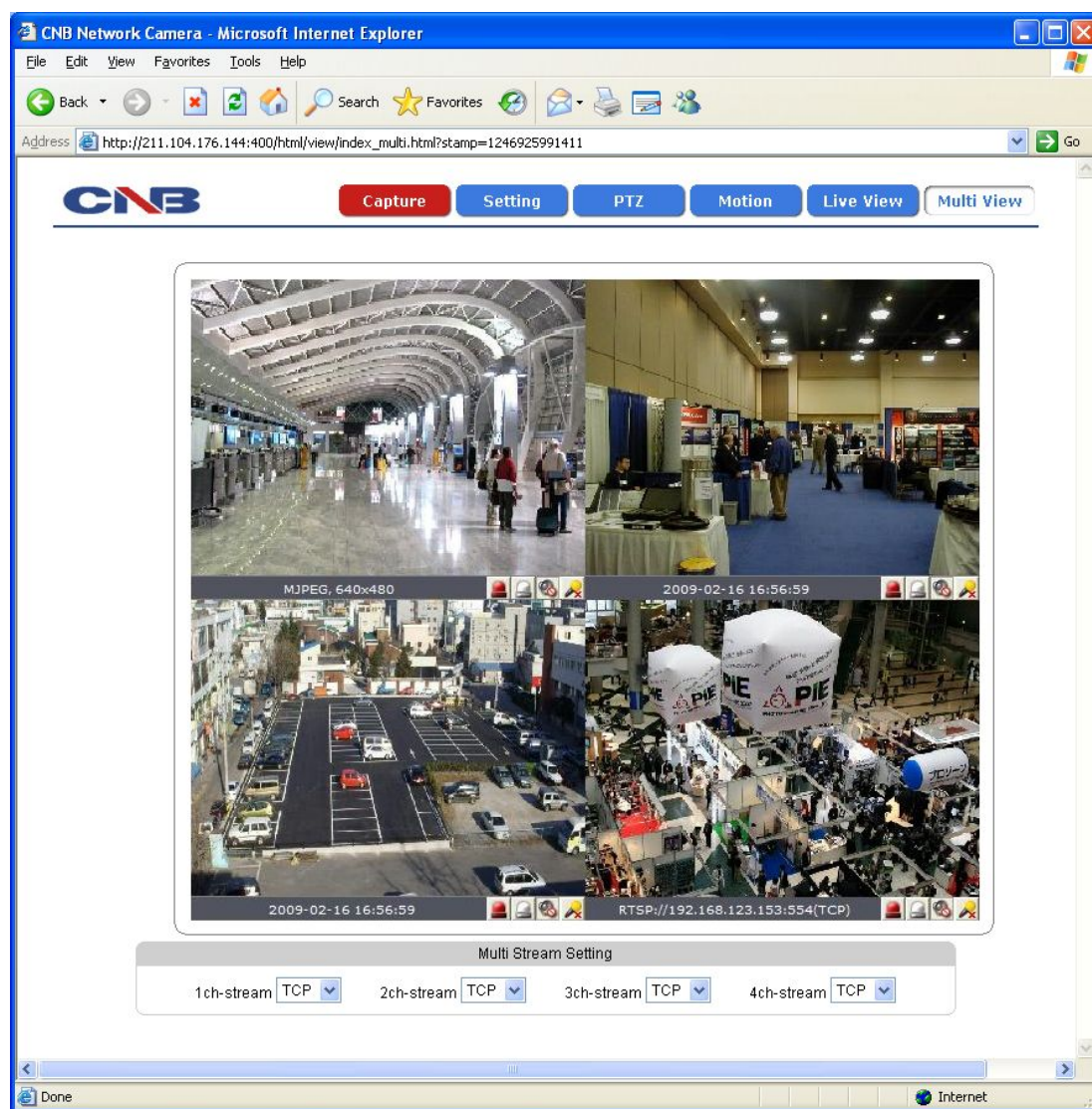


図4-15 マルチビュー

Multi Stream Setting マルチストリーム設定

各チャンネルのストリームプロトコルをTCPかUDPに設定します。

4.3. CMS

CMSソフトは64ch(デュアルモニター使用時は128ch)のXNET機器を接続して、同時映像監視する、センター・マネジメント・サーベランス・ソフトウェアです。詳細は、CMSのマニュアルを参照ください。ここでは、概要を説明します。

4.3.1 CMSソフトのインストール

付属のCDからインストールします。



4.3.2 CMSソフトの使い方

図4-16 サーバー追加アイコン

- ① デスクトップのCMSアイコンをクリックして、ソフトを起動します。
- ② メイン画面左下のサーバー追加アイコンをクリックすると、サーバーリスト画面が表示されます。
XNET機器をサーバーとして、サーバー名、アドレス(IPアドレスまたはドメイン名)、ポート番号、ユーザーID、パスワード、サーバータイプを登録します。

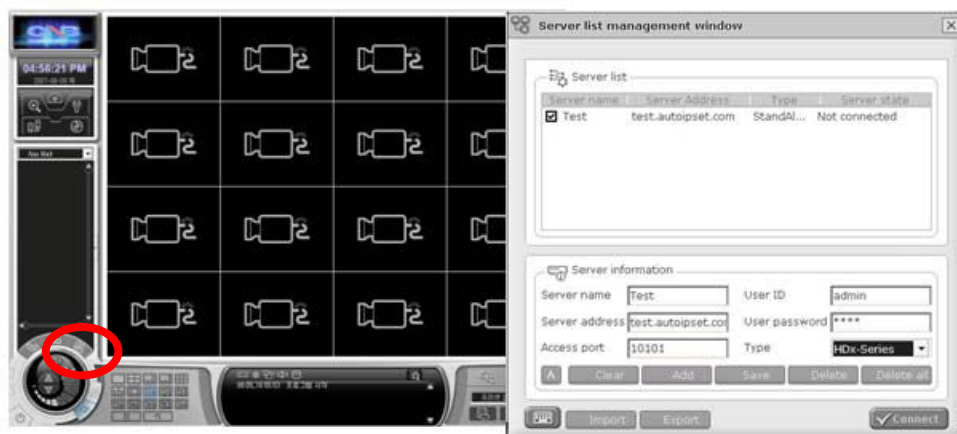


図4-17 サーバー追加画面

- ③ サーバーリスト画面にて、見たいサーバーをチェックボックス口で複数選択して、右下の **Connect** ボタンを押すと複数の映像が分割画面で表示されます。



図4-18 CMSライブ画面

5. XNET 機器の設定

5.1 設定画面

ブラウザ画面から、**Setting** ボタンを押すと、設定画面が開きます。4 種類のカテゴリー、21 項目を設定します。必ずしも全て設定する必要はありません。また、最初から設定されている値を使ってよい場合もあります。

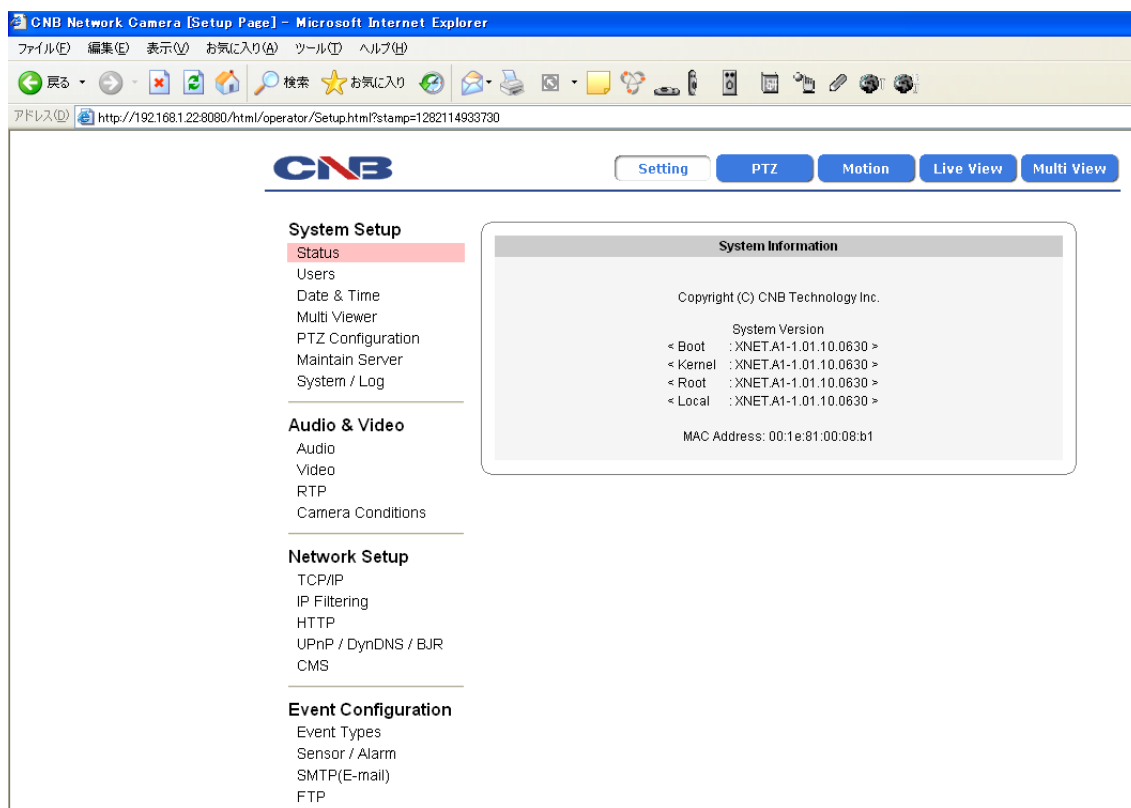


図 5-1 設定画面

表 5-2

項目	翻訳	内容
System Setup	システム設定	
Status	ステータス	XNET機器のシステムバージョンやMACアドレスを表示します。
User	ユーザー	ID/パスワードの変更やアクセス管理をする時に設定します。
Date & Time	日付と時間	日付と時間を確認、修正します。
Multi Viewer	マルチビューワー	3台のXNET機器を追加して、4分割画面で監視ができます。
PTZ Configuration	PTZ制御	PTZ機能を使う場合に設定します。
Maintain Server	サーバー管理	リセット、初期化、設定値の保存・読込、アップデートをします。
System/Log	システムとログ	各種設定値を一覧表示します。 アクセスや操作の履歴を見る、消す、保存、読込みします。
Audio & Video	音声とビデオ	
Audio	音声	音声の使用有無や音声フォーマットを設定します。
Video	ビデオ	ビデオの使用有無やビデオフォーマットを設定します。
RTP	RTP	RTP/RSTPポート番号や最大接続ユーザー数を設定します。
Camera Conditions	カメラ状態	アナログ出力やビデオの色・画質・感度を設定します。
Network Setup	ネットワーク設定	
TCP/IP	TCP/IP	ネットワークのIPアドレス等を設定します。
IP Filtering	IPフィルタリング	接続を拒否するIPアドレスを設定できます。
HTTP	HTTPポート	ブラウザアクセスのためのHTTPポート番号を設定します。
UPnP/DynDNS	UPnP/DynDNS	UPnPやダイナミックDNSの設定をします。
CMS/Telnet	CMS/Telnet	CMS/Telnetポート番号を設定します。
Event Configuration	イベント設定	
Event Types	イベントタイプ	イベント機能使用時のセンサーやスケジュール等を設定します。
Sensor/Alarm	センサーとアラーム	センサー入力接点や発報時間の設定をします。
SMTP(E-mail)	SMTP(Eメール)	発報時、メール送信の場合の設定をします。
FTP	FTP	発報時、FTPサーバーへデータ伝送の場合の設定をします。

通常、映像を見るだけであれば、工場出荷時の設定値で運用することができます。そして、必要なオプション機能を追加する場合や映像や音声のチューニング、機器の管理をする時に個々の機能を参照してください。

ただし、表中の太字で書かれた項目は確認、または場合により設定が必要になります。

- ID/パスワードの変更 : 変更して運用することを推奨します。
- 日付と時間 : 合っていることを必ず確認してください。
- RTP/RSTP ポート番号 : RSTP ポート番号 554 はルーターポート開放に使用します。
- IP アドレス : アクセスに必要なので確認と記録を推奨します。
- HTTP ポート番号 : HTTP ポート番号 80 はルーターポート開放に使用します。
- ダイナミック DNS : 流動インターネットアドレスをホスト名固定するときには使用します。

5.2 システム設定

5.2.1 ステータス

XNET 機器のシステムバージョンや MAC アドレスを表示します。

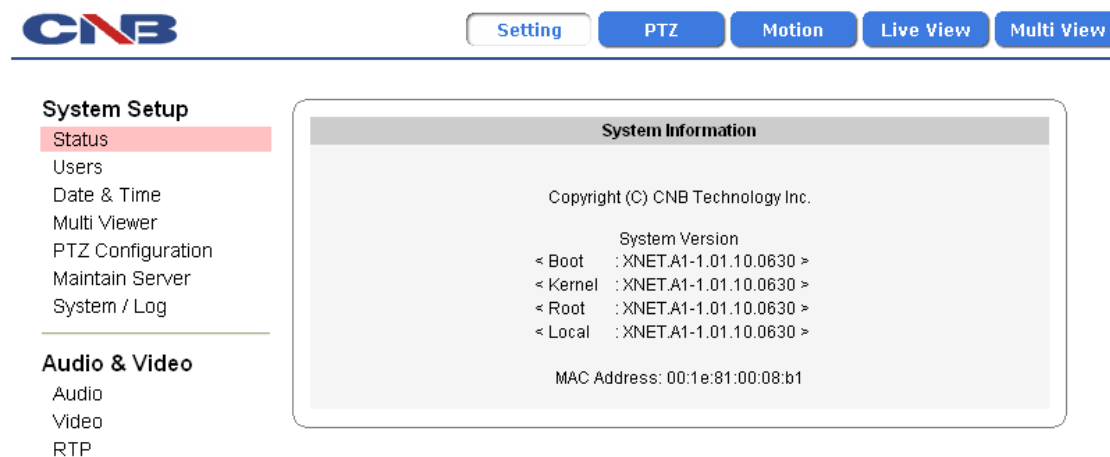


図 5-3 ステータス画面

Advanced System Information システム情報

XNET 製品のシステムのステータスが表示されます。

システムの各プログラムバージョンが表示されます。

MAC アドレスが表示されます。

5.2.2 ユーザー登録

ID/パスワードの変更やアクセス管理をする時に設定します。

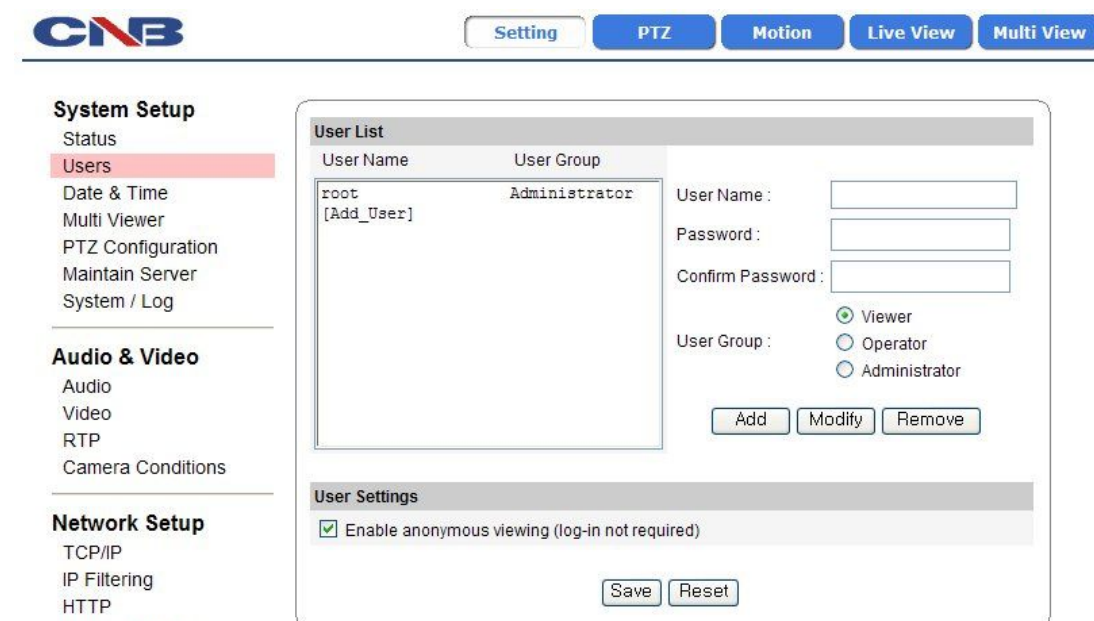


図 5-4 ユーザー登録画面

User List ユーザーリスト

XNET 製品のアクセスするユーザー権限を設定します。

User Name(ユーザー名)と Password(パスワード)をアルファベットで入力します。

Confirm Password(パスワード確認)でもう一度同じパスワードを入力します。

User Group(ユーザーグループ)を設定します。各グループの操作権限は前頁に示します。

Viewer (ゲスト) 全設定操作不可。設定画面を開けません。映像閲覧のみです。

Operator (操作責任者) 音声・ビデオ、イベントとステータス、日付・時刻設定のみ可能です

Administrator (管理者) 全設定操作が可能です。

Add (追加) ユーザー名とパスワードを新規入力して押すと、左側の一覧に登録されます

Modify (修正) 左側の一覧からユーザー名とパスワードを選び、修正後、押して確定します。

Remove (削除) 左側の一覧からユーザー名とパスワードを選び、押すと削除されます。

User Settings ユーザー設定

Enable anonymous viewing (log-in not required) にチェックを入れると、

どのユーザーでも、ユーザー名とパスワード無しで、XNET 製品にアクセスできます。

Save 保存 : これまでの操作を保存します。

Reset リセット : これまでの操作を破棄します。

ユーザーグループ別の操作権限を下表にまとめました。

表 5-5

項目	翻訳	Administrator 管理者	Operator 操作責任者	Viewer ゲスト
System Setup	システム設定			
Status	ステータス	○	○	×
User	ユーザー	○	×	×
Date & Time	日付と時間	○	○	×
Multi Viewer	マルチビューワー	○	×	×
PTZ Configuration	PTZ制御	○	×	×
Maintain Server	サーバー管理	○	×	×
System/Log	システムとログ	○	×	×
Audio & Video	音声とビデオ			
Audio	音声	○	○	×
Video	ビデオ	○	○	×
RTP	RTP	○	○	×
Camera Conditions	カメラ状態	○	○	×
Network Setup	ネットワーク設定			
TCP/IP	TCP/IP	○	×	×
IP Filtering	IPフィルタリング	○	×	×
HTTP	HTTPポート	○	×	×
UPnP/DynDNS	UPnP/DynDNS	○	×	×
CMS/Telnet	CMS/Telnet	○	×	×
Event Configuration	イベント設定			
Event Types	イベントタイプ	○	○	×
Sensor/Alarm	センサーとアラーム	○	○	×
SMTP(E-mail)	SMTP(Eメール)	○	○	×

5.2.3 日付と時間の設定

日付と時間を確認、修正します。

図 5-6 日付と時間の設定画面

Current Server Time 現在のサーバー(XNET 製品)の日付と時刻

XNET 製品の日付と時刻が表示されます。修正したい場合は、以下で修正します。

New Server Time 新しいのサーバー(XNET 製品)の日付と時刻の設定

- | | |
|---------------------------------------------------------------|------------------------------------------|
| Time Zone(タイムゾーン) | 日本では GMT+ 9(Seoul, Osaka, Tokyo) を選択します。 |
| <input type="checkbox"/> Automatically Adjust for Daylight... | サマータイム施行の場合、自動補正します。 |
| Time Mode(タイムモード) | 以下の 4 つの方法で設定します。 |
| <input type="radio"/> Synchronize with computer time | 今、接続している PC の時刻と同期、自動設定されます。 |
| <input type="radio"/> Synchronize with NTP server | インターネット上 time.nist.gov と同期、自動設定されます。 |
| <input type="radio"/> Set Manually | Date(日付)と Time(時刻)を手動で入力します。 |
| <input type="radio"/> None | 何もしません。変更しません。 |

Save 保存 : これまでの操作を保存します。

Reset リセット : これまでの操作を破棄します。

5.2.4 マルチビューワー

3 台の XNET 機器を追加して、4 分割画面で監視ができます。

図 5-7 マルチビューワーの設定画面

他の XNET 機器の映像をあと 3 台まで追加登録して、ブラウザで 4 分割ライブ画面を表示することができます。ここは他の XNET 機器の設定を入力します。あらかじめ調べておいてください。

1 st Sub-Channel Video Settings 追加 1 台目のサブチャンネルの設定

2 nd Sub-Channel Video Settings 追加 2 台目のサブチャンネルの設定

3 rd Sub-Channel Video Settings 追加 3 台目のサブチャンネルの設定

☐ Enable(有効)

IP/Domain(IP アドレスまたはドメイン名)を入力します。

User Name(ユーザー名)と Password(パスワード)をアルファベットで入力します。

RTSP Port RTSP ポート番号を入力します。

HTTP Port HTTP ポート番号を入力します。

Save 保存 : これまでの操作を保存します。

Reset リセット : これまでの操作を破棄します。

5.2.5 PTZ 設定

PTZ 機能を使う場合に設定します。

図 5-8 PTZ の設定画面

PTZ Protocol Upload PTZ プロトコルアップロード

XNET 製品に外部から PTZ プロトコルファイルを追加します。

参照 ボタンを押して、追加したいプロトコルファイルのフォルダとファイル名を指定します。

Upload ボタンを押すと、指定ファイルが XNET 製品メモリに保存されます。(PTZ プロトコルリスト)

PTZ Protocol List PTZ プロトコルリスト

/Set : Pelco_D.txt 現在 XNET 製品に読み込まれて動作しているプロトコルです。

その下のリスト欄に、XNET 製品メモリに保存されているプロトコルが一覧表示されます。

Set リストから使用したいプロトコルをマウスで選択、ボタンを押すと読み込まれます。

Del リストから削除したいプロトコルをマウスで選択、ボタンを押すと削除されます。

PTZ Setup PTZ 設定

Camera ID (カメラ ID) 数値を入力します。

Pan Speed (パン移動速度) 数値を入力します。

Tilt Speed (チルト移動速度) 数値を入力します。

Save 保存 : これまでの操作を保存します。

Reset リセット : これまでの操作を破棄します。

5.2.6 サーバー維持管理

リセット、初期化、設定値の保存・読込、アップデートをします。

The screenshot shows the 'Maintain Server' section of the CNB Network Camera web interface. The sidebar on the left contains navigation links for System Setup, Audio & Video, Network Setup, and Event Configuration. The main content area is divided into several sections:

- Maintain Server**: Contains buttons for 'Restart' (Restart the CNB Network Camera), 'Light Default' (Reset to factory default except for TCP/IP & HTTP), and 'Factory Default' (Reset to factory default setting for all values).
- Image/Camera Initialization**: Contains buttons for 'Delete Logs' (Delete all log files in log directory), 'Delete Images' (Delete all image files in image directory), and 'Reset Camera' (Resets camera condition parameter to the original factory setting).
- Backup**: Contains a 'Backup' button to export settings as user-defined custom settings.
- Restore**: Contains a 'Restore' button to import user-defined custom settings. It also includes a 'Location' field, a '参照...' (Reference) button, and checkboxes to exclude specific parameters (TCP/IP & HTTP, Users, IP Filter, Camera Condition).
- System Update**: Contains an 'Update' button to update the camera with the latest systemware. It includes a 'Location' field, a '参照...' (Reference) button, and a warning message: 'Warning: Do not power off during the update process. Unit will be restarted automatically once it's completed. (1-10 minutes.)'

図 5-9 サーバー維持管理の設定画面

Maintain Server サーバーの維持管理

- Reset** (リセット) : XNET 製品を動作リセットします。
- Light Default** (ライトデフォルト) : TCP/IP HTTP 以外を工場出荷時の設定に戻します。
- Factory Default** (ファクトリーデフォルト) : 工場出荷時の設定に戻します。

Image/Camera Initialization 画像とカメラの初期化

- Delete Logs** (ログ削除) : ログディレクトリーのログファイルを全て消去します。
- Delete Images** (画像削除) : イメージディレクトリーの画像ファイルを全て消去します。
- Reset Camera** (カメラリセット) : カメラ設定パラメーターを工場出荷時に戻します。

Backup バックアップ

Backup バックアップボタンを押すと、現在の XNET 製品の設定を設定ファイルに保存します。

Restore 復元

バックアップで保存した設定ファイルを読み出して、設定を復元します。

参照 : 設定ファイルのディレクトリとファイル名を指定します。

Restore (復元) : 設定ファイルの指定後、ボタンを押すと復元が開始します。

このとき、以下のオプションがあらかじめ指定できます。指定すると、復元の対象から除かれます。
現在の設定をそのまま使うことになります。

- ☐ expect TCP/IP & HTTP parameters : TCP/IP & HTTP 設定値を除く
- ☐ expect Users parameters : ユーザー設定値を除く
- ☐ expect IP Filter parameters : IP フィルター設定値を除く
- ☐ expect Camera Condition parameters : カメラ状態設定値を除く

System Upload システムアップロード

提供されたシステムファイルで XNET 製品のソフトウェアをバージョンアップします。

参照 ボタンを押して、書き換えたいシステムファイルのフォルダとファイル名を指定します。

Upload ボタンを押すと、ファイルがアップロードされて、XNET 製品がバージョンアップされます。

注意 : アップロード・書き込み処理には最大 10 分程度時間がかかります。処理終了後、自動的に再起動します。処理中に誤って電源を切ると、XNET 製品は故障しますのでご注意ください。

5.2.7 システムとログ

各種設定値を一覧表示します。アクセスや操作の履歴を見る、消す、保存、読み込みします。

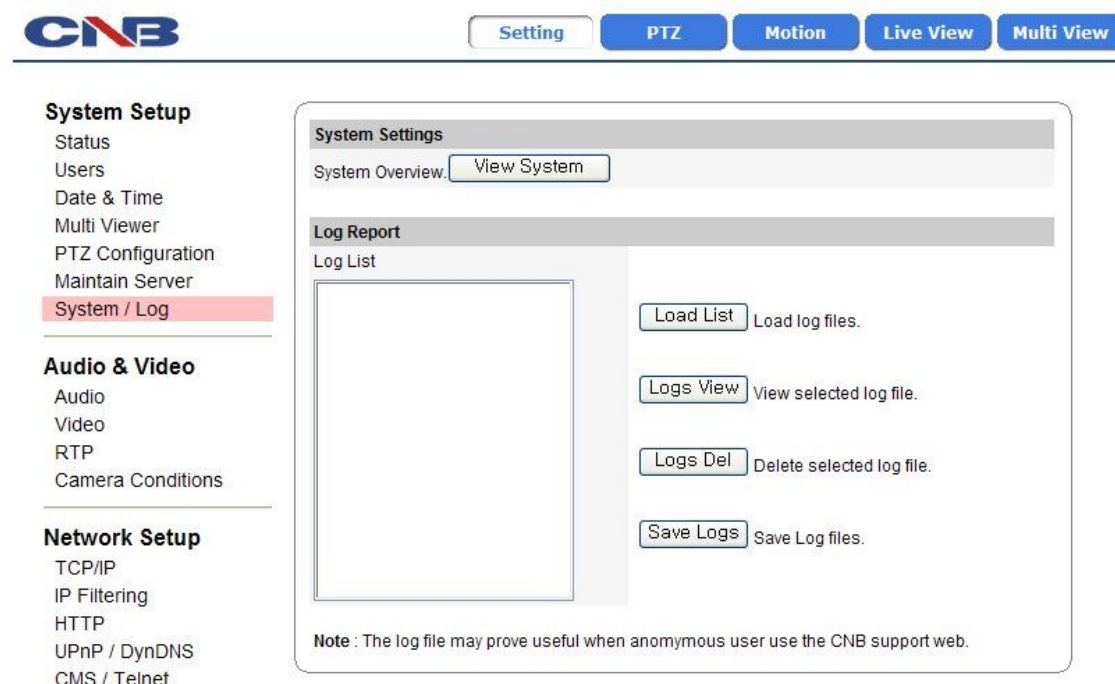


図 5-10 システムとログの設定画面

System Settings システム設定

View System (ビューシステム)を押すと、現在の各種設定値が一覧表示されます。

Log Report ログ・レポート

ログ一覧をログリストに表示させて内容表示や削除、保存を行います。

Load List (リストの読み込み) ログリストにログを読み込み、表示させます。

Logs View (ログの表示) : マウスでクリック選択したログの内容を表示します。

Logs Del (ログの削除) : マウスでクリック選択したログを削除します。

Save Logs (ログの保存) : マウスでクリック選択したログをファイルで保存します。

ログの容量

ログの蓄積容量は 8MB、1 ファイルのサイズは最大 32KB、ログ 1 行のサイズは約 100Byte です。

5.3 音声とビデオ

5.3.1 音声設定

音声の使用有無や音声フォーマットを設定します。

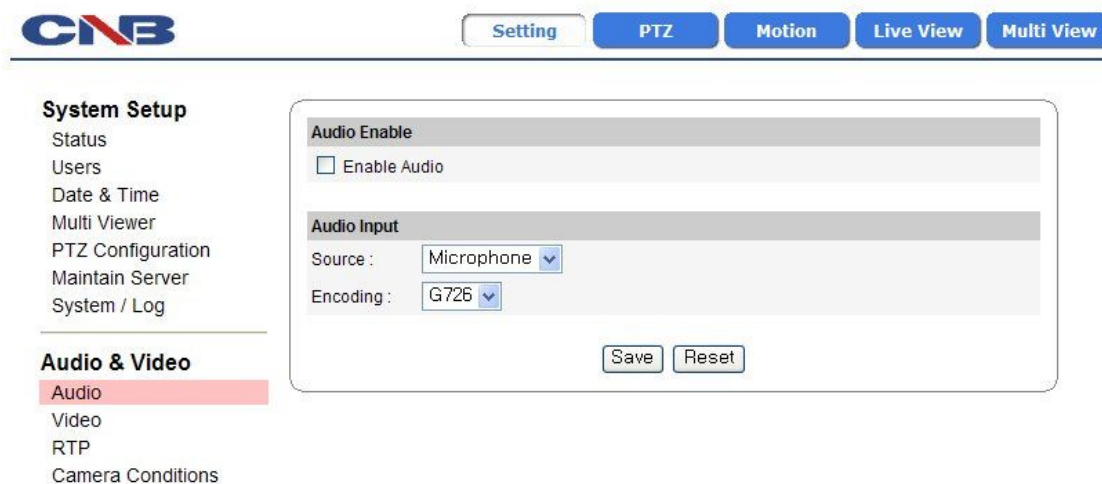


図 5-11 音声の設定画面

Audio Enable 音声の有効

☐ Enable Audio : チェックを入れると音声(双方向)を使用します。

Audio Input 音声の入力

Source : 音声ソースを選択します。

Encoding : エンコーダーを選択します。

保存 : これまでの操作を保存します。

リセット : これまでの操作を破棄します。

5.3.2 ビデオ設定

ビデオの使用有無やビデオフォーマットを設定します。

図 5-12 ビデオの設定画面

Main Stream メインストリーム

Resolution（解像度）：コンボボックスから選択します。

Codec（コーデック）：コンボボックスから選択します。

☐ Enable Dual-Codec：チェックを入れると、デュアルコーデックが有効になります。

NVR 録画時にライブ用サブストリームを有効にします。

Frame Rate Control フレームレート制御

Frame rate（フレームレート）

☐ RTCP Callback Control：チェックを入れると、RTCP コールバック制御が有効になります。

複数クライアントからの接続を受けるときに映像を最適化します。

MJPEG Appearance MPEG 状態

Quality（クオリティ）：コンボボックスから選択します。

MPEG4 & H.264 Appearance MPEG4 & H.264 状態

Bit rate（ビットレート）：コンボボックスから選択します。

Sub Stream(MJPEG) サブストリーム(MJPEG)

Resolution（解像度）：コンボボックスから選択します。

Frame Rate Control フレームレート制御

Frame rate (フレームレート) : コンボボックスから選択します。

MJPEG Appearance MJPEG 状態

Quality (クオリティ) : コンボボックスから選択します。

保存 : これまでの操作を保存します。

リセット : これまでの操作を破棄します。

5.3.3 RTP 設定

RTP/RSTP ポート番号や最大接続ユーザー数を設定します。

図 5-13 RTP の設定画面

RTSP Configuration RTSP 設定

RSTP Port (RSTP ポート) : ポート番号を入力します。デフォルトは 554 です。

Multiple-RTSP Port (マルチプル RSTP ポート) : ポート番号を入力します。デフォルトは 665 です。

RTSP Configuration RTP 設定

RTP Start Port (RTP 開始ポート) : ポート番号を入力します。デフォルトは 2000 です。

RTP End Port (RTP 終了ポート) : ポート番号を入力します。デフォルトは 3000 です。

Maximum number of users to connect (最大接続ユーザー数) : ユーザー数を入力します。

保存 : これまでの操作を保存します。

リセット : これまでの操作を破棄します。

5.3.4 カメラ状態

アナログ出力やビデオの色・画質・感度を設定します。

The screenshot shows the 'Camera Conditions' settings page. On the left, there is a sidebar with 'System Setup' and 'Audio & Video' sections. The 'Camera Conditions' section is highlighted. The main content area shows 'Video Input Format' set to 'NTSC' and 'Video Control' settings for Brightness (95), Contrast (134), and Saturation (144). There are 'Save' and 'Reset' buttons at the bottom right.

図 5-14 カメラ状態の設定画面

Video Input Format ビデオ入力フォーマット

Video format (ビデオフォーマット) : コンボボックスから選択します。

White Balance ホワイトバランス

White Balance (ホワイトバランス) : コンボボックスから選択します。

Red Control (赤色コントロール) : コンボボックスから選択します。

Blue Control (青色コントロール) : コンボボックスから選択します。

Video Control ビデオコントロール

Brightness (ブライトネス) : コンボボックスから選択します。

Contrast (コントラスト) : コンボボックスから選択します。

Saturation (サチュレーション) : コンボボックスから選択します。

Save 保存 : これまでの操作を保存します。

Reset リセット : これまでの操作を破棄します。

5.4 ネットワーク設定

5.4.1 TCP/IP

ネットワークの IP アドレス等を設定します。

System Setup
 Status
 Users
 Date & Time
 Multi Viewer
 Maintain Server
 System / Log

Audio & Video
 Audio
 Video
 RTP
 Camera Conditions

Network Setup
TCP/IP
 IP Filtering
 HTTP
 UPnP / DynDNS
 CMS

Event Configuration
 Event Types
 Sensor / Alarm
 SMTP(E-mail)
 FTP

Setting Motion Live View Multi View

IP Address Configuration
☐ Obtain an IP Address automatically.(DHCP)
☒ Use the following IP Address :
 IP Address : 192.168.2.162
 Subnet Mask : 255.0.0.0
 Default Gateway : 192.1.1.1

DNS Configuration
 Primary DNS Server : 168.126.63.1
 Secondary DNS Server :

NTP Configuration
 NTP Address : time.nist.gov

Hostname Configuration
 Use the Host Name : CNB_IPCAM

MAC Address
 MAC Clone : 00 : 1e : 81 : 00 : 0b : 0f Reset MAC Addr

Save Reset

図 5-15 TCP/IP の設定画面

IP Address Configuration IP アドレス設定

- ☐ Obtain an IP Address Automatically (DHCP) IP アドレスを自動設定 (DHCP)
- ☐ Use the following IP Address 以下の設定を使う

IP Address IP アドレス : 入力します
 Subnet Mask サブネットマスク : 入力します
 Default Gateway デフォルトゲートウェイ : 入力します

DNS Configuration DNS 設定

Primary DNS Server プライマリ DNS サーバー : 入力します
 Secondary DNS Server セカンダリ DNS サーバー : 入力します

NTP Configuration NTP 設定

NTP Address NTP アドレス : 入力します

Hostname Configuration ホストネーム設定

Use the Host Name ホスト名を使用 : ホスト名を入力します

MAC Address MAC アドレス

MAC Clone MAC クローン : 通常は変更しないでください

Save 保存 : これまでの操作を保存します。

Reset リセット : これまでの操作を破棄します。

5.4.2 IP フィルタリング

接続を拒否する IP アドレスを設定できます。

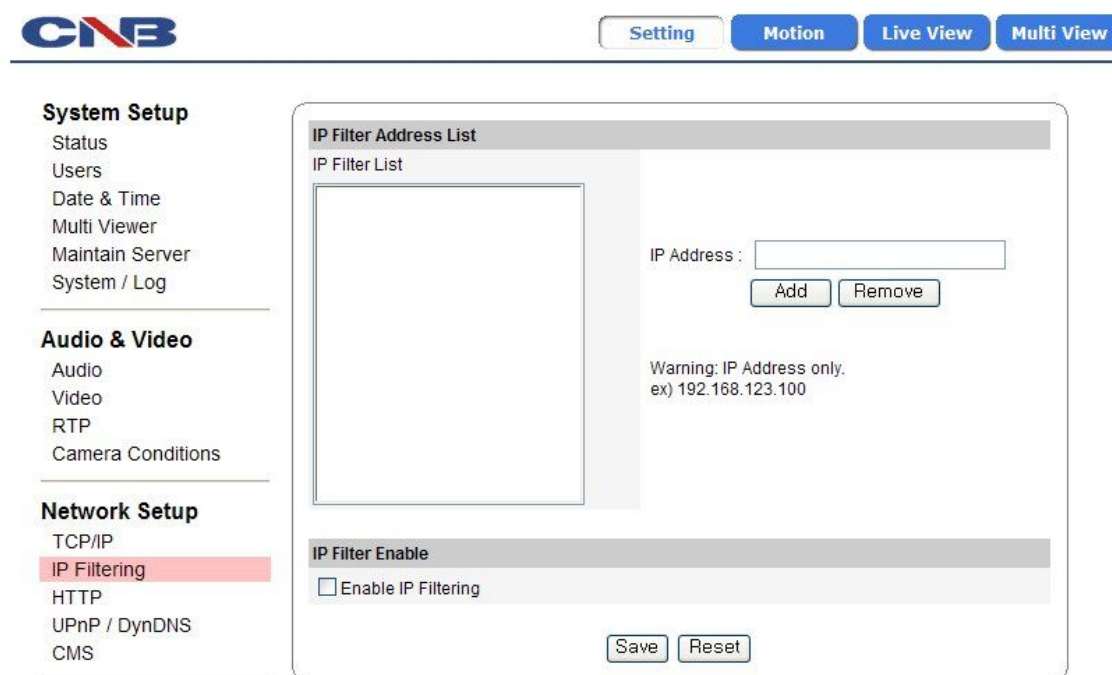


図 5-16 IP フィルタリングの設定画面

IP Filter Address List フィルターする IP アドレスのリスト

IP Address IP アドレス : IP アドレスを入力します。

Add 追加 : 入力した IP アドレスを一覧に追加します。

Remove 削除 : 入力した IP アドレスを一覧から削除します。

IP Filter Enable IP フィルターを有効にする

☐ Enable IP Filtering : チェックを入れると、
IP フィルターを有効にします。

Save 保存 : これまでの操作を保存します。

Reset リセット : これまでの操作を破棄します。

有効時はブラウザの接続エラーとなります。



図 5-17 IP フィルターの結果

5.4.3 HTTP ポート

ブラウザアクセスのための HTTP ポート番号を設定します。

図 5-18 HTTP ポートの設定画面

HTTP

HTTP Port HTTP ポート : 初期値は 80 です。変更する場合は 1～65535 の数字を入れます。

保存 : これまでの操作を保存します。

リセット : これまでの操作を破棄します。

5.4.4 UPnP/DynDNS

UPnP やダイナミック DNS の設定をします。

図 5-19 UPnP/DynDNS の設定画面

UPnP Setting UPnP 設定

- ☐ Enable UPnP : チェックを入れると、ユニバーサル・プラグ・&・プレイを使用します。
- Friendly name : フレンドリーネームを入力します。

注意 : IP インストーラーソフトを使う場合は、必ず Enable UPnP を有効にしてください。

DynDNS Setting ダイナミック DNS 設定

- ☐ Enable DynDNS : チェックを入れると、ダイナミック DNS を使用します。
- ☐ Enable Anonymous : チェックを入れると、ダイナミック DNS 使用時の認証が不要です。
- Alias host name : ホストネームを入力します。
- User name : ダイナミック DNS 使用時のユーザー名を設定します。
- Password : ダイナミック DNS 使用時のパスワードを設定します。

Bonjour Setting Bonjour 設定

- ☐ Enable Bonjour : チェックを入れると、ボンジュールを使用します。
- Sever name : サーバー名を入力します。

Save 保存 : これまでの操作を保存します。

Reset リセット : これまでの操作を破棄します。

5.4.5 CMS

CMS でカメラのイベント情報を受け取る場合設定します。

The screenshot displays the web interface for configuring the CMS (Common Message Service) port. On the left, a sidebar lists various system settings categories: System Setup, Audio & Video, and Network Setup. Under Network Setup, the 'CMS' option is selected and highlighted. The main content area shows the 'CMS' configuration section with a 'CMS Port' input field set to '5000' and a range indicator '[1..65535]'. Below the input field are 'Save' and 'Reset' buttons. At the top of the interface, there are tabs for 'Setting', 'Motion', 'Live View', and 'Multi View', with 'Setting' being the active tab.

図 5-20 CMS ポート設定画面

CMS

CMS Port : CMS のポート番号を設定します。

保存 : これまでの操作を保存します。

リセット : これまでの操作を破棄します。

5.5 イベント設定

5.5.1 イベントタイプ

イベント機能使用時のセンサーやスケジュール等を設定します。

System Setup
 Status
 Users
 Date & Time
 Multi Viewer
 PTZ Configuration
 Maintain Server
 System / Log

Audio & Video
 Audio
 Video
 RTP
 Camera Conditions

Network Setup
 TCP/IP
 IP Filtering
 HTTP
 UPnP / DynDNS
 CMS / Telnet

Event Configuration
Event Types
 Sensor / Alarm
 SMTP(E-mail)
 FTP

Event Enable
☒ Enable Event

Event Mode
☐ Sensor
☒ Motion Detection
 Note: Video will stream at maximum 9fps if the motion detection is enabled on SXGA resolution.

Event Settings
 Capture Frame : 2 fps [1..3]
 Pre-Alarm : 2 sec [1..5]
 Post-Alarm : 3 sec [1..8]

Event Schedules
☒ Always ☐ During time
☐ Sun ☐ Mon ☐ Tue ☐ Wed ☐ Thu ☐ Fri ☐ Sat
 Start time : 00:00:00 End time : 00:00:00

Event Output
☒ Upload image to FTP[..**FTP Setting**]
☐ Alarm output port
☒ Send image to email(SMTP)[..**SMTP Setting**]

Select Storage
☒ Save image to internal memory
☐ Save image to SD memory

View
 Load saved images. Port: 21 [1..65535]

図 5-21 イベントタイプ設定画面

Event Enable イベントの有効

☐ Enable Event : チェックを入れると、イベント機能が有効になります。

Event Mode イベントモード

☐ Sensor (センサー) : 使用するときは、チェックを入れます。

☐ Motion Detection (モーションディテクション) : 使用するときは、チェックを入れます。

Event Setting イベント設定

Capture Frame (キャプチャフレーム) : フレームレートを選択します。例 : 2fps=1 秒間に 2 コマ。

Pre-Alarm (プリアラーム) : 時間(秒)を選択します。

Post-Alarm (ポストアラーム) : 時間(秒)を選択します。

Event Schedule (イベントスケジュール)

☐ Always (常時) : イベント機能を常時オンにします。

☐ During time (以下の期間) : イベント機能を選択した曜日、時間にオンします。

☐ Sun(日) ☐ Mon(月) ☐ Thu(火) ☐ Wed(水) ☐ Thu(木) ☐ Fri(金) ☐ Sat(土)

Start time : 開始時間を入力します。

End time : 終了時間を入力します。

Event Output イベント出力

☐ Upload image to FTP : チェックを入れると、画像を FTP サーバーへ保存します。

☐ Alarm output port : チェックを入れると、アラーム出力ポートに出力します。

☐ Send image to email (SMTP) : チェックを入れると、画像を電子メールで送信します。

Select Storage 記憶媒体選択

☐ Save image to internal memory : チェックを入れると、画像を内部メモリへ保存します。

☐ Save image to SD memory : チェックを入れると、画像を SD メモリへ保存します。

View イベント出力

Load image : 内部メモリ(XNET 内部 FTP サーバー)保存された画像を開いて見ます。

Port(ポート) : 内部 FTP サーバーのポート番号を入力します。

保存 : これまでの操作を保存します。

リセット : これまでの操作を破棄します。

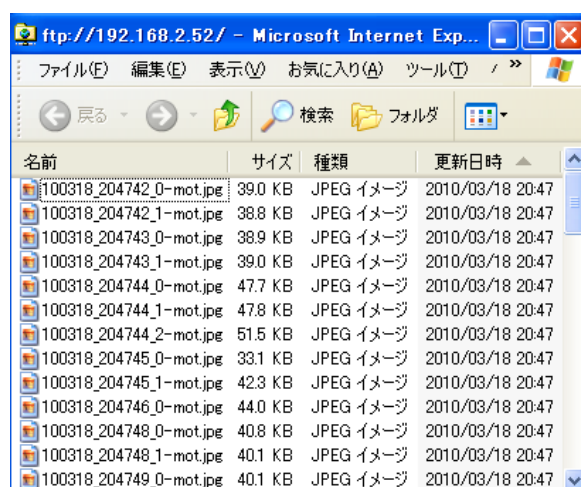


図 5-22 内部メモリの画像ファイル表示

5.5.2 センサーとアラーム

センサー入力接点や発報時間の設定をします。

System Setup

- Status
- Users
- Date & Time
- Multi Viewer
- Maintain Server
- System / Log

Audio & Video

- Audio
- Video
- RTP
- Camera Conditions

Network Setup

- TCP/IP
- IP Filtering
- HTTP
- UPnP / DynDNS
- CMS

Event Configuration

- Event Types
- Sensor / Alarm**
- SMTP(E-mail)
- FTP

Sensor Setting

Signal Type : NO(Normal Open) ▼

Alarm Setting

Out Interval : 2 ▼ sec

Force Alarm Control

Alarm Control : Auto ▼

Save Reset

図 5-23 センサーとアラームの設定画面

Sensor Setting センサー設定

Signal Type : 入力センサーの信号タイプを選択します。

- : NO(ノーマルオープン)は通常時オフ、異常検知時にオンとなるセンサーです。
- : NC(ノーマルクローズ)は通常時オン、異常検知時にオフとなるセンサーです。

Alarm Setting アラーム設定

Out Interval : 出力インターバル時間を選択します。

Force Alarm Control フォースアラーム制御

Alarm Control : アラーム制御方法を選択します。

- : Auto(オート)は、上記設定のとおり動作します。
- : Manual(マニュアル)は、ビューワー画面から手動動作(強制動作・解除)できます。

Save 保存 : これまでの操作を保存します。

Reset リセット : これまでの操作を破棄します。

5.5.3 SMTP (E メール)

アラーム発報時に静止画添付メールを送信したい場合、設定をします。

System Setup
 Status
 Users
 Date & Time
 Multi Viewer
 PTZ Configuration
 Maintain Server
 System / Log

Audio & Video
 Audio
 Video
 RTP
 Camera Conditions

Network Setup
 TCP/IP
 IP Filtering
 HTTP
 UPnP / DynDNS / BJR
 CMS

Event Configuration
 Event Types
 Sensor / Alarm
SMTP(E-mail)
 FTP

Sender : SMTP Settings

☒ Enable Internal SMTP Server
☐ Enable SMTP Authorization

SMTP Server Name :
 SMTP Port : [1..65535]
 User Name :
 Password :

Receiver : E-mail Address Setting

Email Address 1 :
 Email Address 2 :
 Email Address 3 :

図 5-24 SMTP (E メール)の設定画面

Sender : SMTP Settings SMTP サーバーの設定

- ☐ Enable Internal SMTP Server : チェックを入れると XNET 内蔵 SMTP を使います。(推奨)
- ☐ Enable SMTP Authorization : チェックを入れると SMTP 認証を有効にします。
- SMTP Server Name : SMTP サーバー名を入力します。
- SMTP Port : SMTP ポート番号を入力します。
- User name : SMTP サーバーのユーザー名を入力します。
- Password : SMTP サーバーのパスワードを入力します。

Receiver : E-mail Address Setting E メールアドレスの設定

- Email Address 1 : 送信先メールアドレスを入力します。
- Email Address 2 : 送信先メールアドレスを入力します。
- Email Address 3 : 送信先メールアドレスを入力します。

保存 : これまでの操作を保存します。

リセット : これまでの操作を破棄します。

5.5.4 FTP

アラーム発報時にデータを FTP サーバーへ送信したい場合、設定をします。

The screenshot shows the XNET web interface. At the top, there's a navigation bar with buttons: Setting, PTZ, Motion, Live View, and Multi View. The sidebar on the left contains a menu with the following items:

- System Setup**
 - Status
 - Users
 - Date & Time
 - Multi Viewer
 - PTZ Configuration
 - Maintain Server
 - System / Log
- Audio & Video**
 - Audio
 - Video
 - RTP
 - Camera Conditions
- Network Setup**
 - TCP/IP
 - IP Filtering
 - HTTP
 - UPnP / DynDNS / BJR
 - CMS
- Event Configuration**
 - Event Types
 - Sensor / Alarm
 - SMTP(E-mail)
 - FTP** (highlighted)

The main content area displays the 'FTP Server' configuration page. It has two main sections:

- FTP Server**
 - FTP Name :
 - FTP Port : [1... 65535]
- Login Information**
 - User Name :
 - Password :

At the bottom of the configuration area, there are two buttons: **Save** and **Reset**.

図 5-25 FTP の設定画面

FTP Server FTP サーバー

FTP Name : FTP サーバー名を入力します。
FTP Port : FTP サーバーのポート番号を入力します。

Login Information

User name : FTP サーバーのログインユーザー名を入力します。
Password : FTP サーバーのログインパスワードを入力します。

Save 保存 : これまでの操作を保存します。

Reset リセット : これまでの操作を破棄します。

5.6 DDNS によるインターネット遠隔監視の設定例

LAN 内の XNET 機器を、インターネットを使って遠隔監視するためには、一般的にインターネットの契約(回線とプロバイダ)、ルーターのポート開放、XNET 機器の DDNS 設定が必要です。

以下に例を示します。くわしくはネットワーク技術者、または販売店へご相談ください。

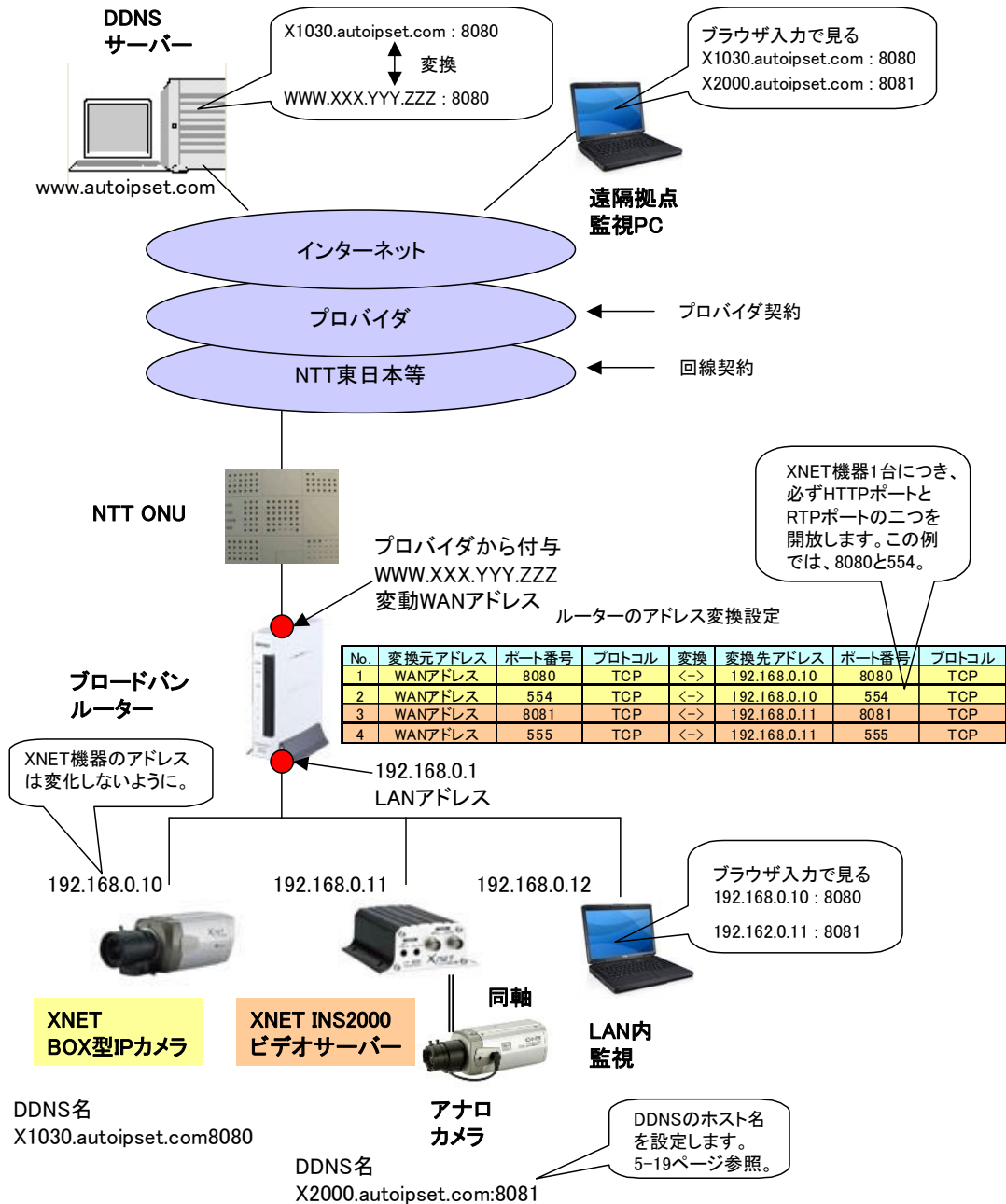


図 5-26 遠隔監視

5.7 DDNS サイト autoipset.com について

ここでは、管理用の DDNS サイト autoipset.com について解説します。このサイトでは、インターネット上の XNET の状態について確認することができます。XNET に接続できない場合は、このサイトで確認するのがひとつの方法です。

DDNS(ダイナミック・ドメイン・ネーム・システム)は、インターネット上で、契約プロバイダから付与される動的グローバル IP アドレスを固定化するシステムです。インターネット上の XNET にアクセスするためには、グローバル IP アドレスを指定しますが、固定契約をしない限り、アドレスは動的に変化します。これでは、XNET にアクセスする前にアドレスを調べなければなりませんし、調べるのが困難な場合があります。

DDNS サーバーに、各 XNET をホスト名とともに登録することによって、動的にグローバル IP アドレスの変化に関係なく、ホスト名を使って XNET に接続することができます。(前セクション 5.6 参照)

5.7.1 DDNS サービス サイト autoipset.com

ブラウザ(IE)から <http://autoipset.com> にアクセスします。以下の画面になります。

Welcome to DDNS Service

User ID :

Password:

Login

[Registration](#)
[Find ID/PW](#)
[korean](#) [English](#)

- What is DDNS? Dynamic DNS (DDNS) allows you to create a hostname that points to your dynamic IP or static IP address(IP Camera, DVR, Web Server)
- We provide a free DDNS service to our customers who purchased our IP camera, PC DVR, or Standalone DVR
- Please register your devices after signing in to autoipset.com. If you are new to this web site, please sign up for autoipset.com
- User account will be automatically expired if you do not register your devices in 6 months after you signed up for autoipset.com

図 5-27 DDNS サービス サイト

5.7.2 ユーザー登録

初めて使用するときは、ユーザー登録をします。左下の [Registration](#) をクリックします。

Registration

User ID : [Check ID]
 (Up to 20 characters)

Password : Confirm :
 (Up to 20 characters)

Name :
 (Up to 20 characters)

E-mail :
 (Please input an E-mail address that you want to get your password info when you forgot your password)

Submit

図 5-28 ユーザー登録

User ID : ユーザーID を半角英数 20 文字以内で入力します。
 [Check ID] : 押すとユーザーID の重複をチェックします。既に登録済の場合は変更します。
 Password : パスワードを半角英数 20 文字以内で入力します。
 Confirm : 確認のためパスワードをもう一度入力します。
 Name : 任意の名前を入力します。半角英数 20 文字以内
 E-Mail : E メールアドレスを入力します。パスワードを忘れた際に使います。
 [Submit] を押して確定します。

User ID と Password は、5.5.4 DynDNS の User name と Password と同じになります。

図 5-29 ダイナミック DNS 設定画面

注意 ; User name と Password を使わない場合は、DDNS サービスサイトを使えません。

5.7.3 ログイン

User ID と Password 欄に入力、[Login] を押します。

図 5-30 ログイン

DDNS サービスサイトのメイン画面、プロダクトリスト(User List)が表示されます。

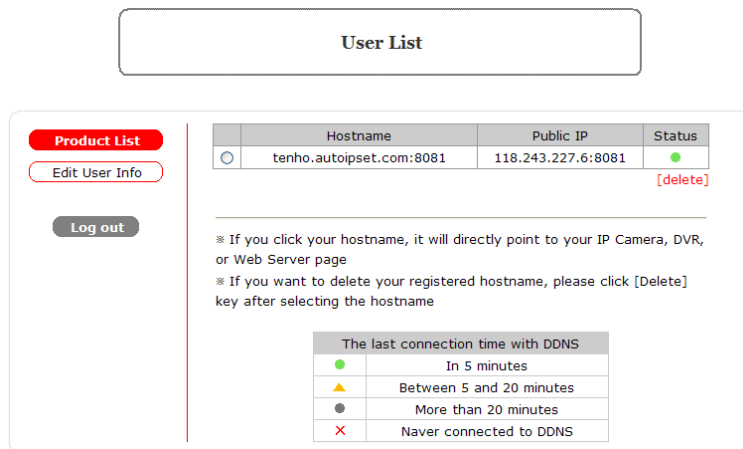


図 5-31 プロダクトリスト

同じユーザーID、パスワードで DDNS 登録された各 XNET 機器が複数表示されます。

○ [delete] : 選択して[delete]を押すと、DDNS サーバーからそのホスト名を削除します。

Hostname : XNET の設定で登録したホスト名が表示されます。

クリックすると当該 XNET のサイトが開きます。

Public IP : XNET のグローバル IP アドレスの現在値が表示されます。

クリックすると当該 XNET のサイトが開きます。

Status : XNET の接続状態(ステータス)がアイコンで表示されます。

Status(ステータス)の見方

XNET 機器と DDNS サーバーの最後の通信からの経過時間を示します。正常時、両者は常に通信してグローバル IP アドレスの変化を監視しています。

●(緑) 5 分以内 : XNET 機器は正常です。

△(橙) 5 分～20 分以内 : XNET 機器は正常です。

○(灰) 20 分以上 : XNET 機器は正常です。

×(赤) DDNS サーバーと未接続 : XNET 機器が無い。未設置、電源オフ、設定異常等です。

The last connection time with DDNS	
	In 5 minutes
	Between 5 and 20 minutes
	More than 20 minutes
	Naver connected to DDNS

図 5-32 DDNS との接続後経過時間

6. 付録

仕様

表 6-1 仕様

IGP1030		仕様
カメラ	信号形式	プログレッシブ・イメージ・プロセッシング
	走査方式	4:3 プログレッシブ
	イメージセンサー	1/2インチ プログレッシブ CMOS センサー
	同期方式	内部同期
	有効画素数	1280 (H) x 960 (V) 1.3メガピクセル
	水平解像度	800 TV 本
	映像出力レベル	NTSC/PAL選択 1.0V _{p-p} (BNC 75Ω, コンボジット) * VGA/QVGA モードのみ
	レンズ	C/GS マウント, DC アイリス (推奨レンズ)
	最低被写体照度	1ルクス(DSS オン)
	デジタルパン・チルト	映像クロッピング機能
	逆光補正	オン/オフ
	フリッカーレス	オン/オフ
	ホワイトバランス	オート/マニュアル
	露出	オート/マニュアル
システム	Functions	B/W
	電子シャッター速度	NTSC : 1/6 ~ 1/600 (13 段階) / PAL : 1/6 ~ 1/500 (13 段階)
	メインプロセッサ	32ビットCPU エンベデッド・リナックス
	システムメモリー	NAND フラッシュメモリー : 64MB, 128MB DDR メモリー/SDカード : 4GBまで
ビデオ 音声	動画圧縮規格	SXGA / XGA : MJPEG / VGA : MJPEG / MPEG4 / H.264
	フレーム数	SXGA, XGA : MJPEG (Max. 24fps) / VGA : MJPEG / MPEG4 / H.264 (24fps)
	解像度	SXGA (1280 x 960), XGA (1024 x 768), VGA (640 x 480), QVGA (320 x 240)
	ビデオストリーミング	SXGA / XGA : MJPEG シングルモード, VGA : デュアルモード
	映像設定	固定または可変ビットレートMPEG4 (128kbps ~ 3M bps), 毎秒フレーム数、帯域幅設定、圧縮レベル設定、ブライトレス、シャープレス、ホワイトバランス調整可能
	音声	2方式 (フルデュプレックス / ADPCM G.726)
ネットワーク	プロトコル	IPv4, HTTP, TCP, RTSP, RTP, RTCP, UDP, SMTP, FTP, ICMP, DHCP, UPnP, Bonjour, ARP, DNS, DynDNS
	サポートDDNS	1. CNB DDNS 2. DynDNS.org
	ウェブブラウザからのアクセス	最台10クライアントまでライブビュー接続
	PoEサポート	IEEE 802.3af サポート (オプション)
セキュリティ	アクセスレベル設定	パスワード保護によるマルチユーザーアクセスレベル管理
	ネットワークセキュリティ	IP フィルタリング
アラーム イベント	映像検出	モーションディテクション (エリアごとに3範囲まで設定)
	センサー検出	センサー入力, スケジュール, アラーム出力
	イベント検地後動作	JPEGファイルをFTPサーバーへアップロード/SMTP (Eメールサーバー)
	ローカルストレージ	JPEGファイルを内部メモリーまたはSDカードに保存 - 内部メモリー : 最大32MB - SDカード : 最大 4GB
	プリ/ポストアラーム	最大時間設定 : プリアラーム 5 秒 / ポストアラーム 8 秒 保存 : 内部メモリーまたはSDカード、形式 : JPEGファイル
アプリ ケーション	ブラウザ	インターネット・エクスプローラー 6.0 以上
	モニタリングアプリケーション	ウェブビュー (ウェブブラウザベース)、最台10クライアントまでライブビュー接続 映像スナップショットまたは録画機能、JPEGファイルをモニタリングソフト(CMS)にて処理
メンテナンス	システムコントロール	ウェブブラウザからの設定
	システムアップグレード	HTTPによるファームウェア アップグレード
物理仕様	PTZ 制御 (RS-485)	各種PTZ プロトコルサービス (ユーザーによる追加)
	操作温度	0°C ~ 40°C
	本体寸法	W70 X H64 X D129
	本体重量	358g (レンズ除く)
	電源	DC 12V 最大 5 W

寸法図

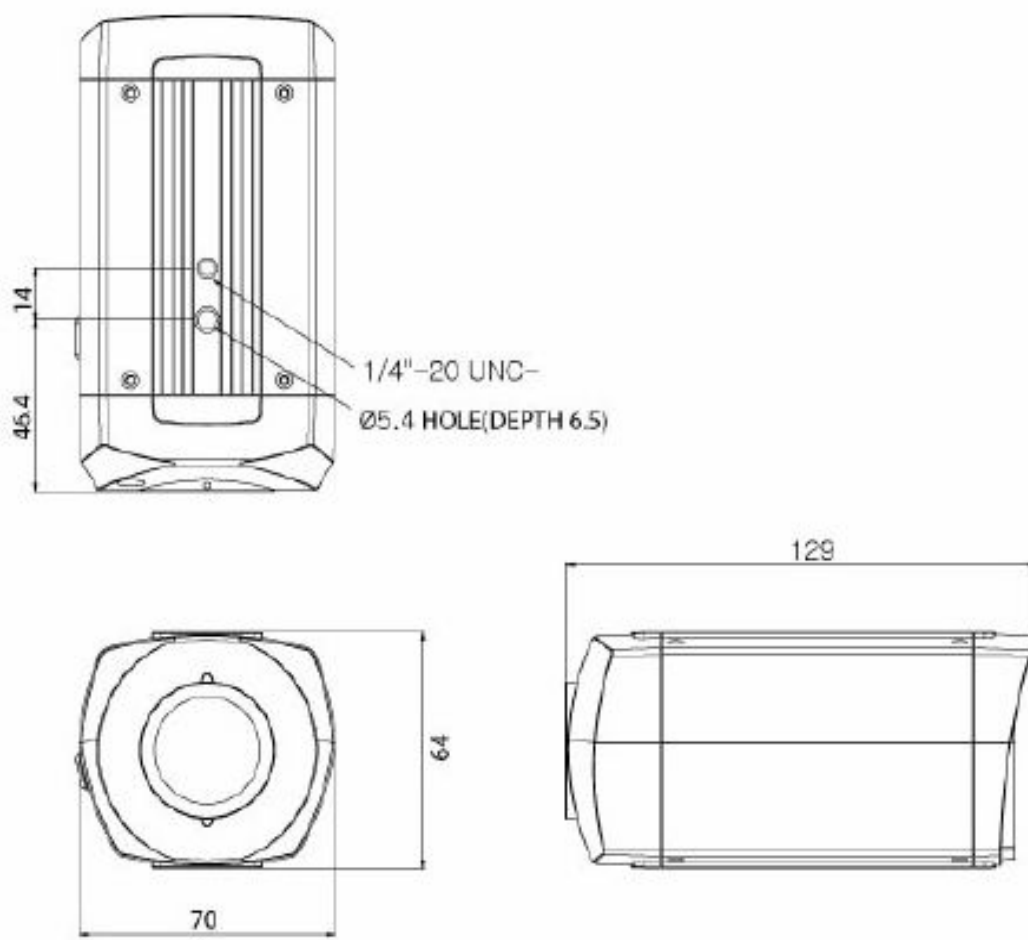


図 6-2

保証書

この製品は厳密な検査に合格してお届けしたものです。お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合は、この保証書に記載された内容により修理、または交換致します。

※修理は、お買い上げの販売店に必ずこの保証書を添えてご依頼下さい。

※この保証書は再発行致しませんので、大切に保管してください。

型式：	シリアルNo：
保証開始日：	年 月 日 より1年間
お客様	貴社名
	ご住所
	電話番号
販売会社	会社名

保証規定

○次のような場合は、保証期間内でも対象外となります。

- ・本保証書のご提示が無い場合
- ・本保証書の所定事項の未記入、また字句を書き換えられた場合。
- ・火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障
- ・お買い上げ後の輸送、移動時の落下など、お取り扱いが不適当な為生じた故障
- ・接続している他の機器に起因して生じた故障
- ・取扱説明書に記載の使用方法又は注意に反するお取扱によって生じた故障
- ・弊社以外の作業者による、改造、調整、部品交換などをされた場合。
- ・消耗品の交換

本保証書は、日本国内においてのみ有効です。【This Warranty is valid only in Japan.】本保証書は、保証書の規定に明示の期間無償修理をお約束するものです。従って、本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保障期間経過後は有償にて修理などをお受します。尚、修理によって交換された製品及び部品は株式会社店舗プランニングにその所有権が移転します。詳しくはお買い上げの販売店、あるいは株式会社店舗プランニングにお問合せ下さい。

※本製品、本製品取扱説明書の内容の一部又は全部を弊社の承諾なしに複製する事は出来ません。

※本製品を運用した結果の他の影響につきましては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

※本製品は将来改良の為予告無く変更する場合があります。

※本製品、又はこの機器をシステムの一部としてご利用になる製品を販売される場合は弊社までご相談下さい。

販売代理店

